

令和元年度版

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

(分野別)



神石高原町教育委員会

目 次

	ページ
I. 油木高校魅力化+プロジェクト編	1 ~ 8
II. 中 高 連 携 教 育 編	9 ~ 18
III. 油 木 高 校 生 へ の 町 支 援 編	19 ~ 25

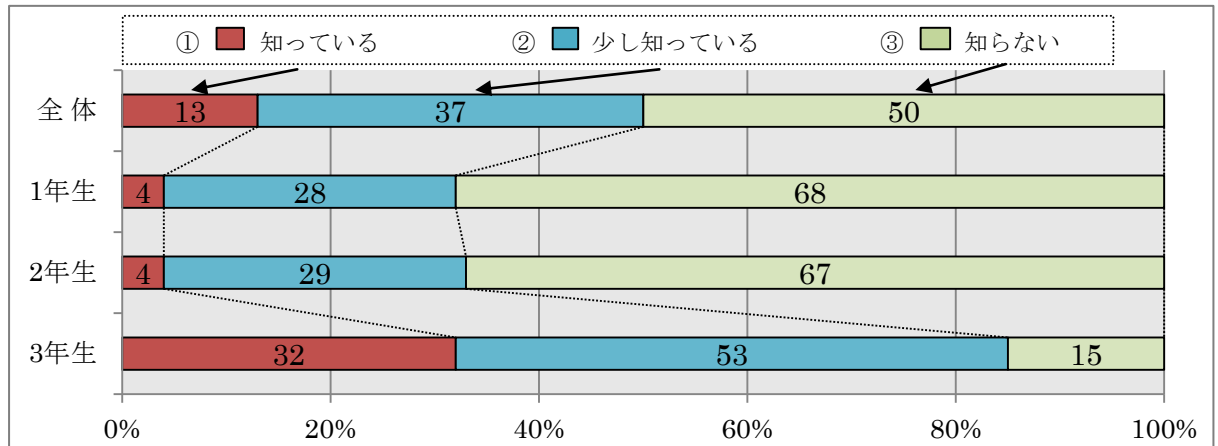
回 答 者 数

1. 中 学 生	回答者数 <u>157人</u> / 在籍者数	171人
2. 高 校 生	回答者数 <u>158人</u> / 在籍者数	173人
3. 中・高教職員	回答者数 <u>57人</u> / 全教職員数	60人
4. 小学校保護者	回答者数 <u>166人</u> / 対象児童数	174人
5. 中学校保護者	回答者数 <u>154人</u> / 生徒総数	167人
6. 地 域	回答者数 <u>81人</u> / 質問者数	114人

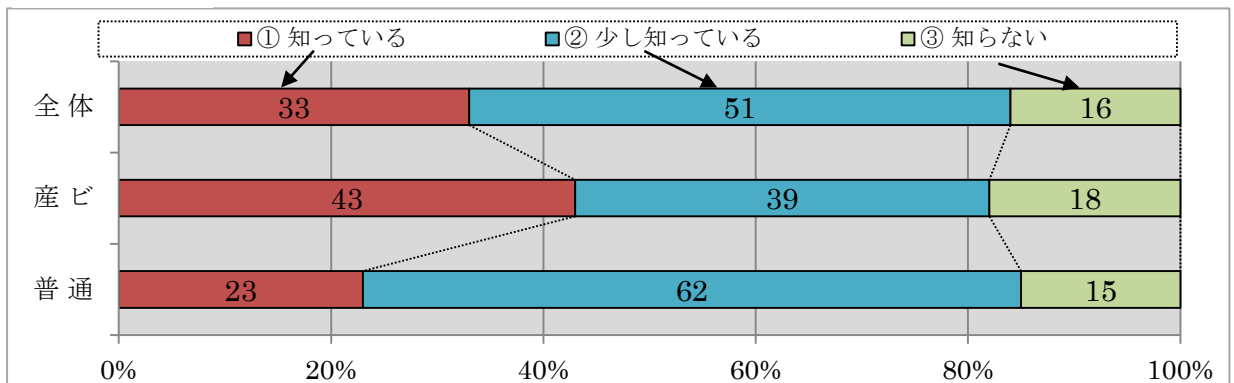
I. 「油木高校魅力化+プロジェクト」に関わるアンケート調査 結果と考察

① 神石高原町では油木高校のさらなる魅力づくりを創出するために、慶応大学の協力のもと、「油木高校魅力化+プロジェクト」に取り組んでおり、その具体策（神ゼミ、ドローンアカデミー、地域学 など）を現在検討中ですが、その「油木高校魅力化+プロジェクト」のことを知っていますか。

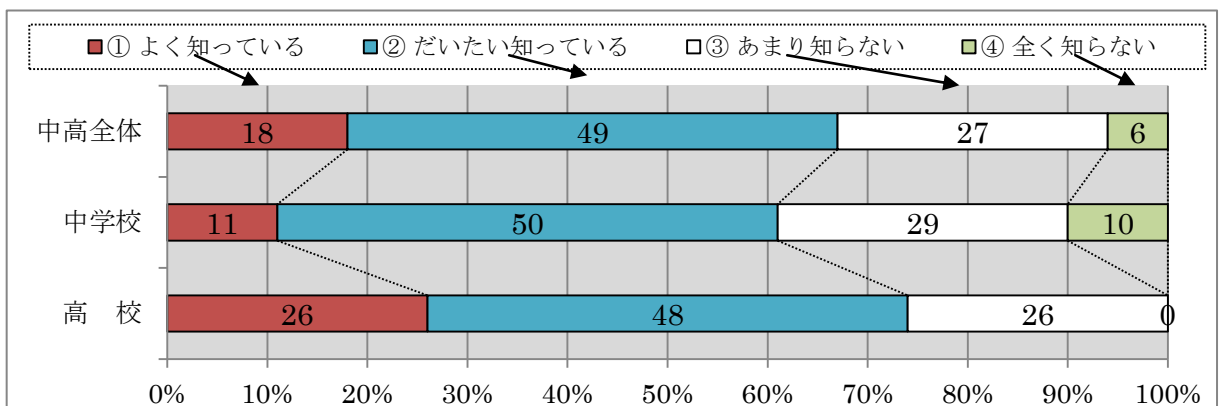
<中学生>



<高校生>



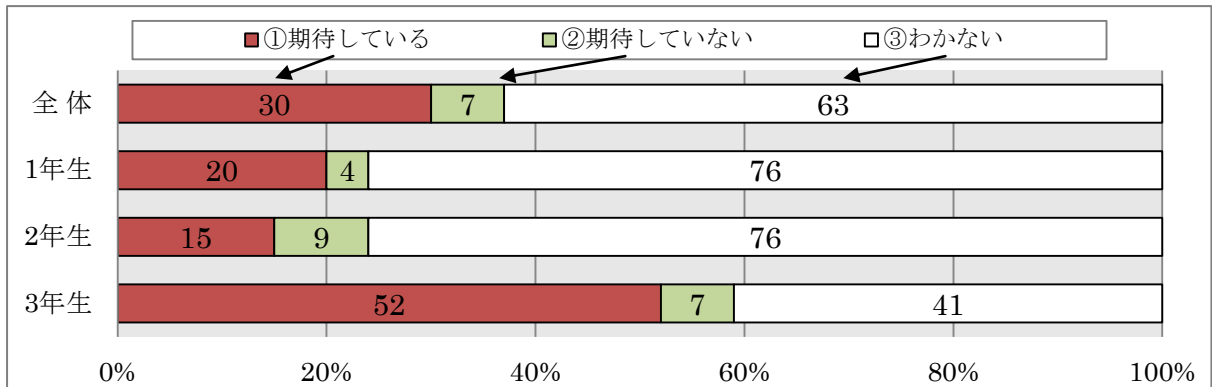
<中・高 教職員>



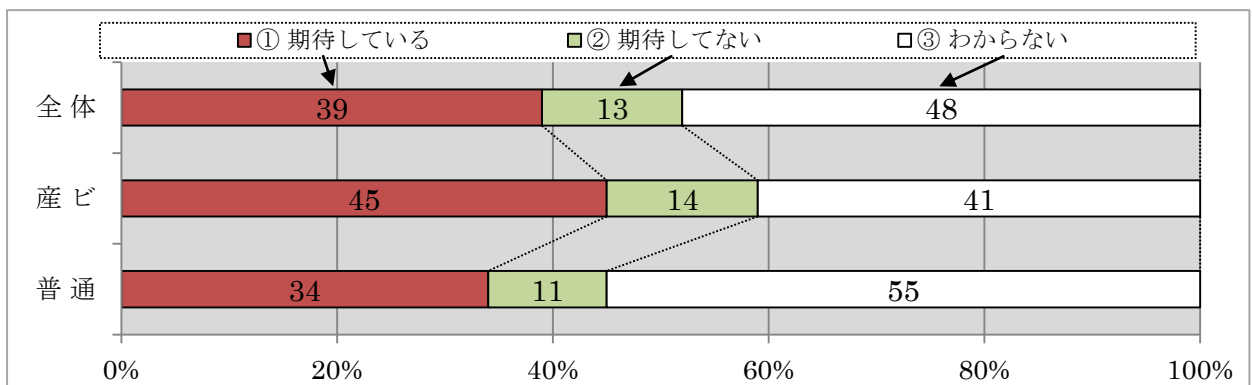
考察 ・認知度が高いのは、全体で 高校生、中高教職員、中学生の順に高いが、その中で中学3年生には十分な情報提供がなされていない中で、認知度は普通科と同じ85%と非常に高い。
 ・今後は油木高校ホームページの「高校魅力化+プロジェクト」のコーナーに進捗状況を紹介していけるように努める。

② 「油木高校魅力化+(グループ)プロジェクト」に期待感をもっていますか。

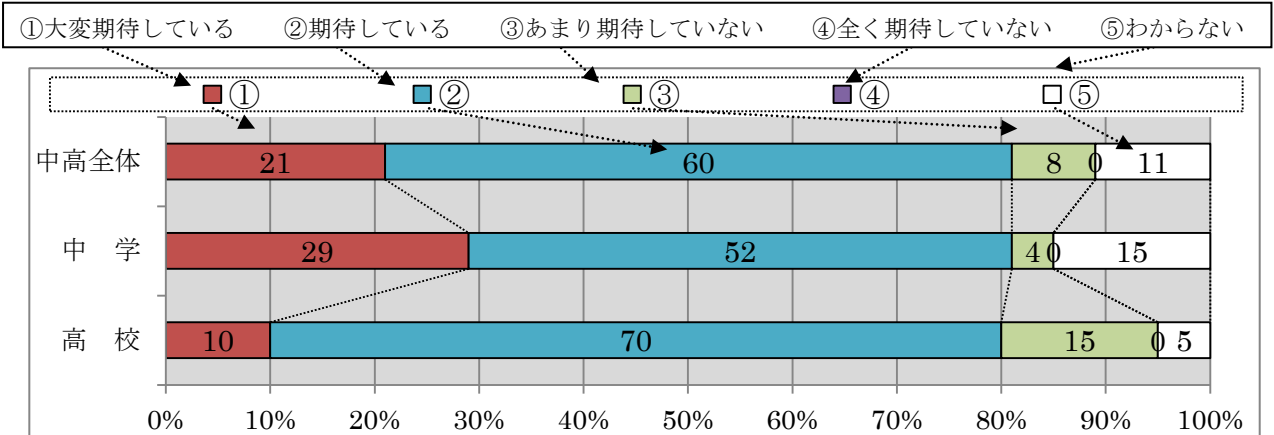
<中学生>



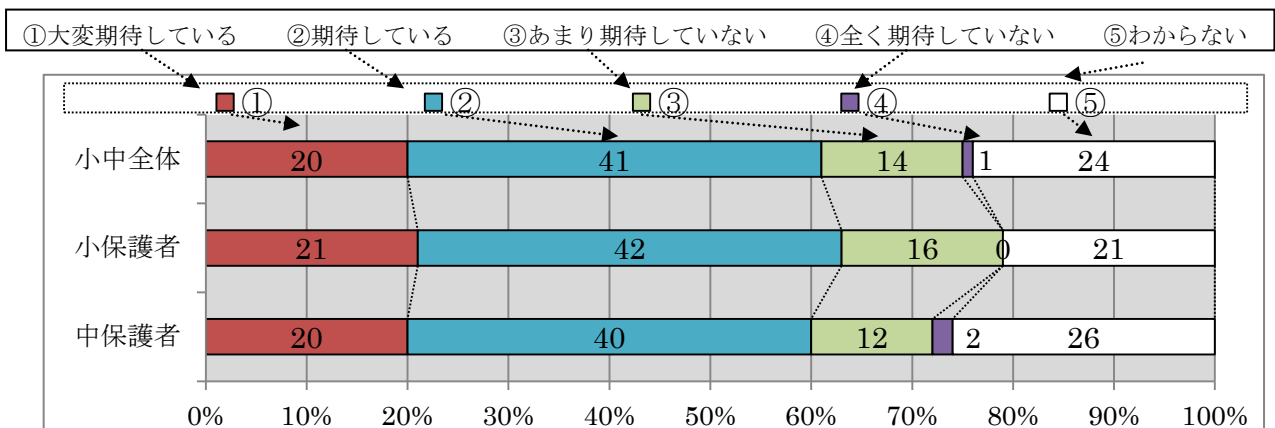
<高校生>



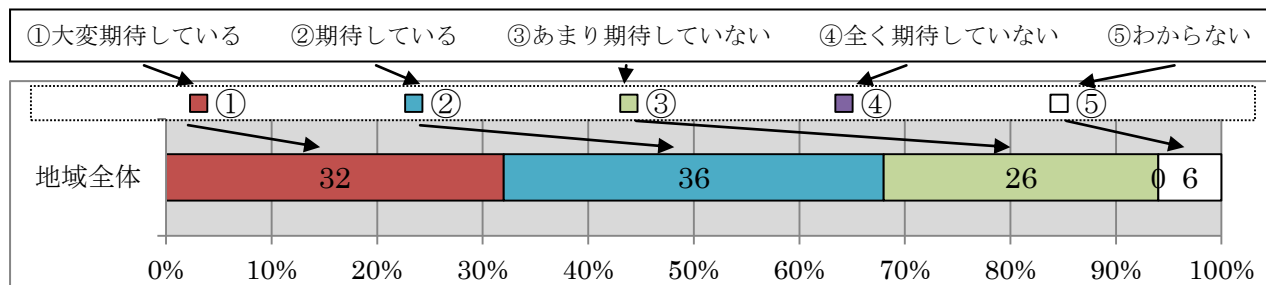
<中・高教職員>



<小・中保護者>



<地 域>



考察 ・「大変期待している・期待している」の肯定的回答としては、中高教職員の81%が最も高く、次いで地域・小中保護者の60%台となっている。

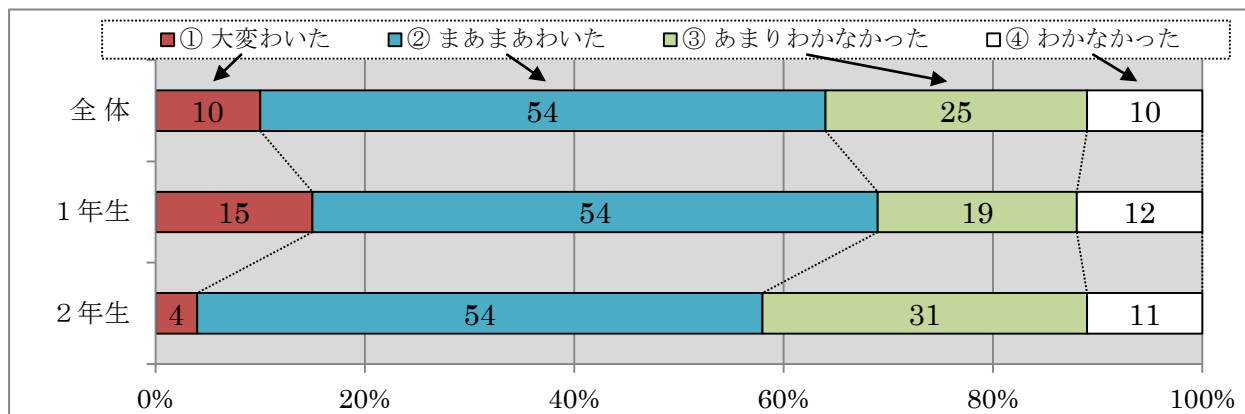
・反対に「期待していない・あまり期待していない」の否定的回答で多いのは、地域(26%)、小中保護者(14%)、高校生(13%)が二桁台であった。

・中高教職員の「あまり期待していない」が高校の方が中学校よりも約4倍多いのは気になるところである。今後取り組む上で、どこあたりでそう感じられるのか、検討をしてみる必要がある。

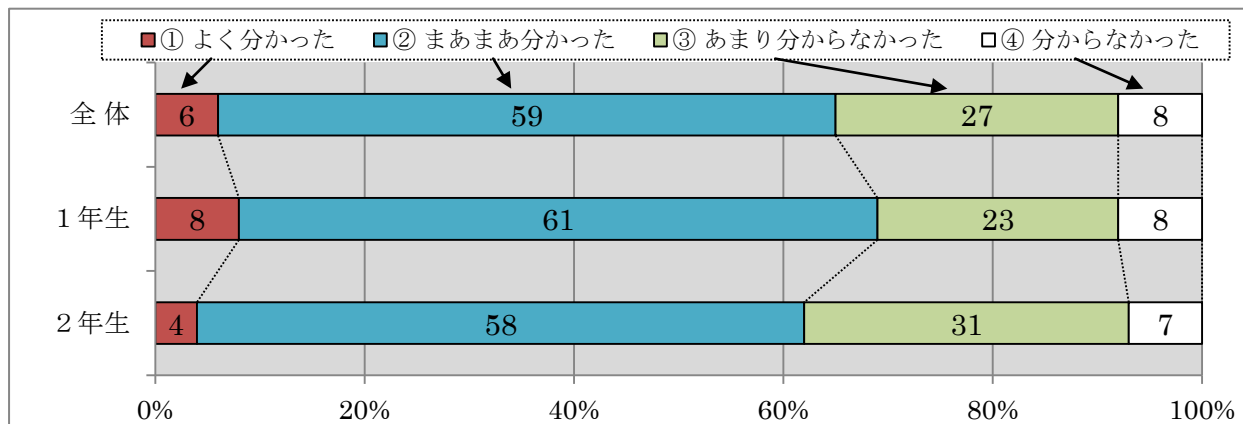
・「わからない」とする者が、中学生、高校生、小中保護者に非常に多いだけに今後しっかりと情報提供していく必要がある。

③ <高校生> 油木高校普通科1, 2年生の「総合的な探究の時間」(神ゼミ)は、本年度から新しいカリキュラムで実施していますが、そのことについて質問します。 * 普通科の1~2年生のみ答えてください。

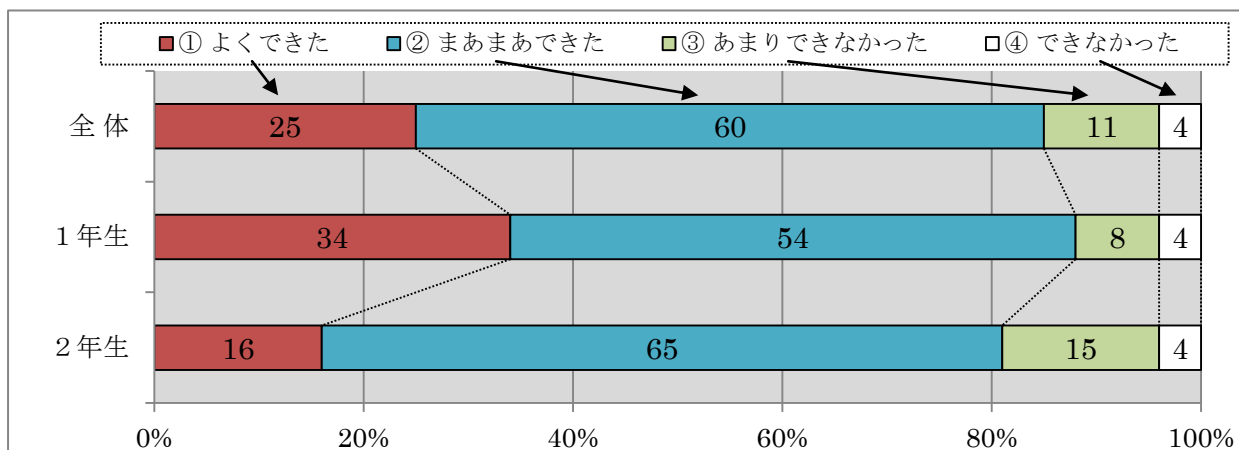
(1) 学習内容について興味や学習意欲がわきましたか。(興味・関心・意欲)



(2) 授業内容は分かりましたか。(理解度)



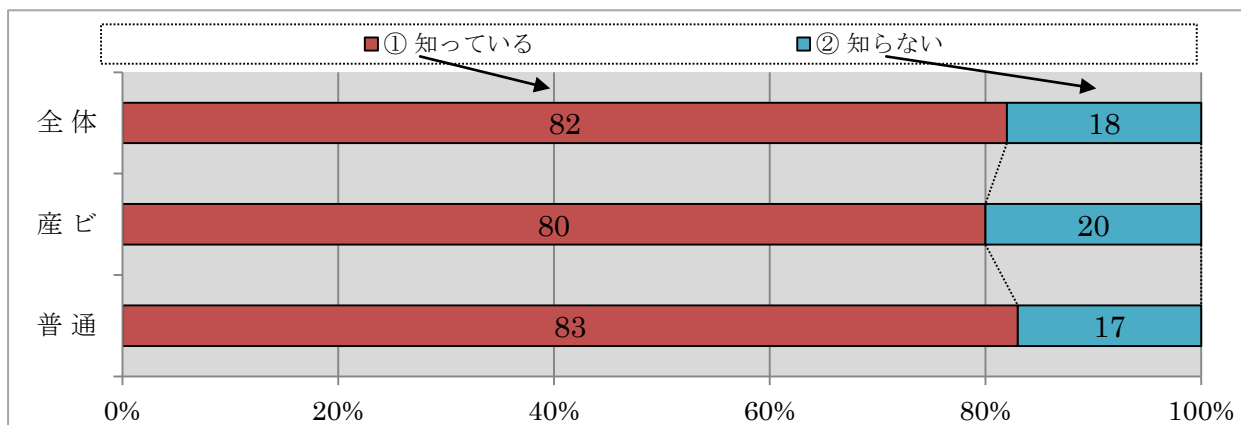
(3) 授業では積極的に学習活動ができましたか。(態度・活動面)



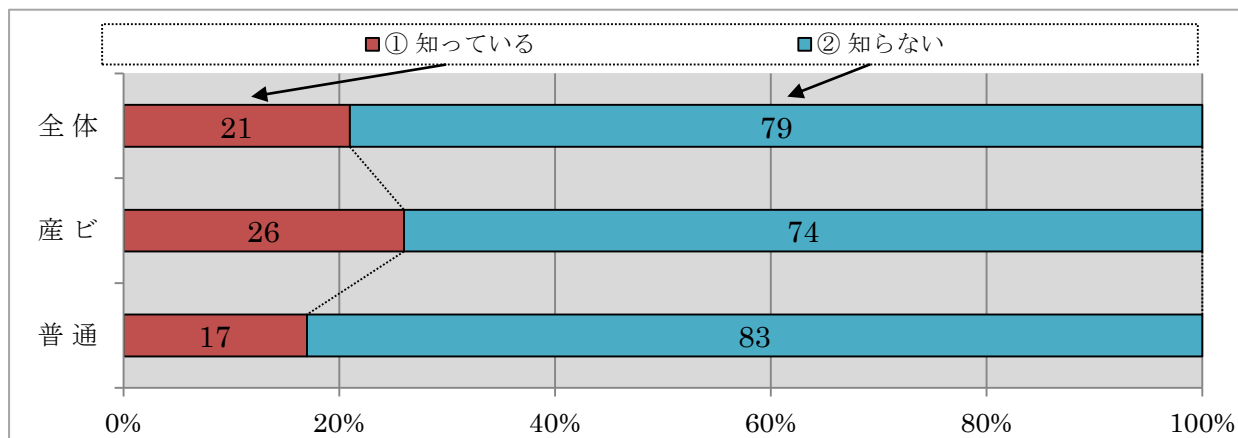
考察 ・普通科1, 2年生の「総合的な探究の時間」について, (1)で興味・関心・意欲を, (2)で理解度を, (3)で態度・活動面をそれぞれに質問したのですが, どの項目もやや1年生の方が高い数値である。

・1, 2年生ともに各項目の肯定的回答は50%以上の数値ではあるが, どの項目も80%以上の回答となるよう学年ごとに次年度への対策を練る必要がある。また, 来年度で油木高校魅力化+プロジェクト事業も終了するので, しっかりと(株)プリマペンギーノ社の指導を受け, 各人が指導力を向上させていくように努める。

4 <高校生> (1) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)が実施されていることを知っていますか。



(2) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)では, どんなことをしているか知っていますか。



(3) 本年度、放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講したことがありますか。

	産業ビジネス科	普通科	計
	(受講したことがある)	(受講したことがある)	(受講したことがある)
1年生	5人	4人	9人
2年生	0人	0人	0人
3年生	5人	4人	9人
計	10人	8人	18人

(4) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講した人は、どんな感想をもちましたか。

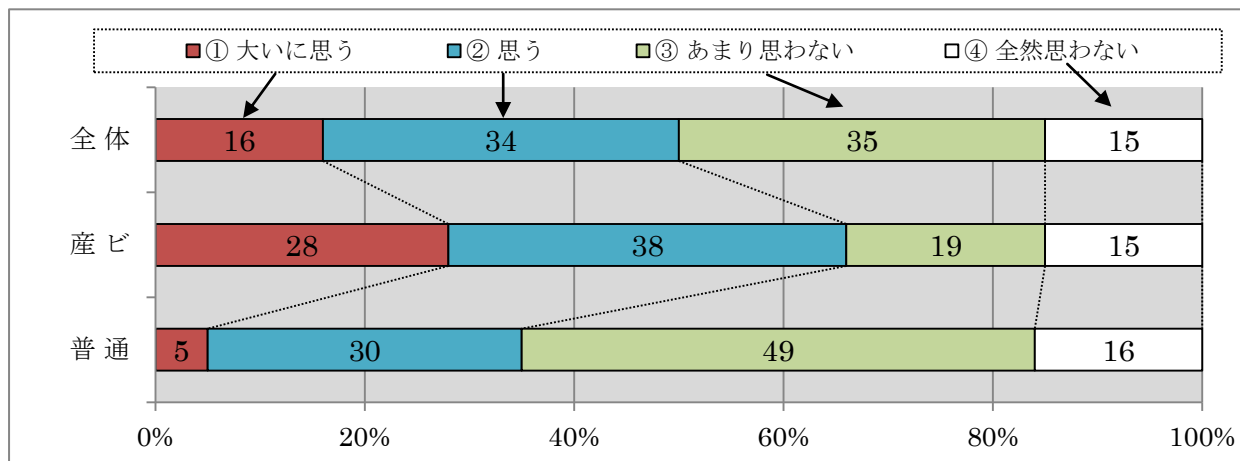
	① 大変勉強になる		② 勉強になる		③ あまり勉強にならない		④ 勉強にならない	
	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通
	1年生	2	4	3	0	0	0	0
2年生	0	0	0	0	1	0	1	0
3年生	2	0	5	4	0	0	1	0
計	4人	4人	8人	4人	1人	0人	2人	0人

考察 ・(1)で放課後「神ゼミ」の存在は知っているようであるが、(2)で学習内容なり学習活動を「知っていない」が多い(79%)ので、先ずは何をしているのかの認知度を高める工夫や策が必要である。

・受講した生徒は少数であるが、その多くが「大変勉強になる、勉強になる」との肯定的回答をしており、指導者側は自信を持って、今後も研鑽を積みながら、実績の見える化(例：外部の発表大会などで入賞など)をしていく必要がある。

・放課後「神ゼミ」は、「油木高校魅力化+プロジェクト」の目玉でもあるので、より多くの生徒が受講し、中身も充実したものになるよう、全国的にも実績のある(株)プリペンの強力な支援が必要である。

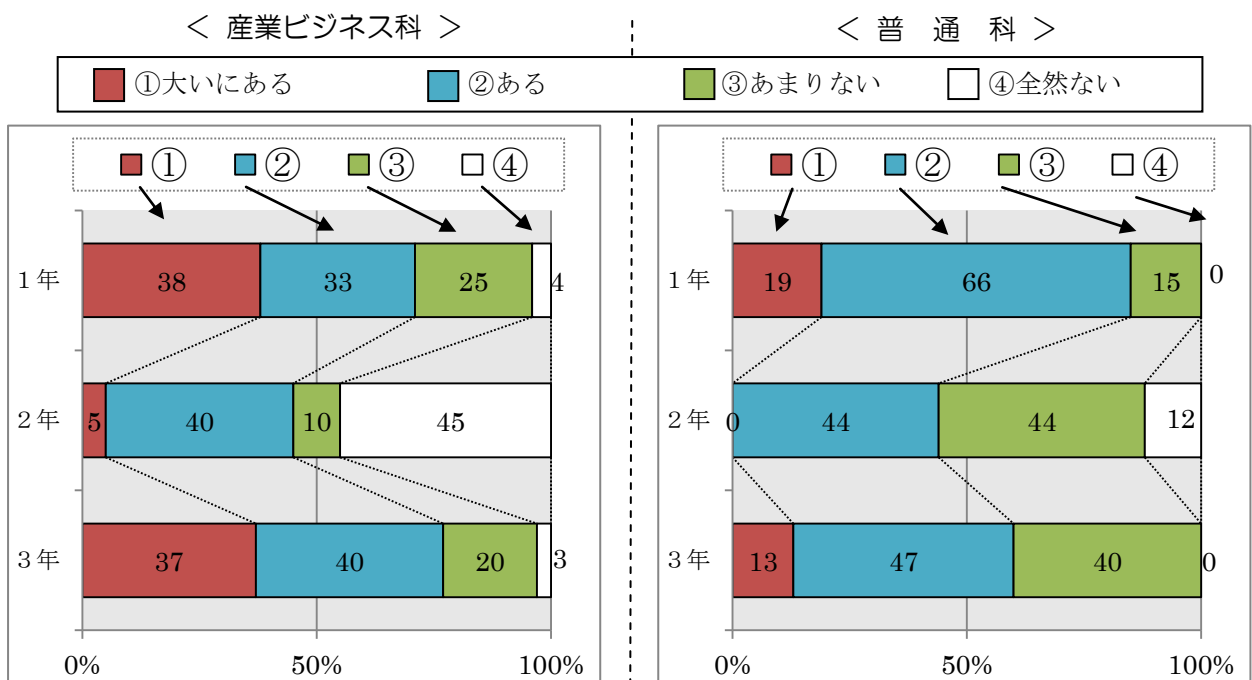
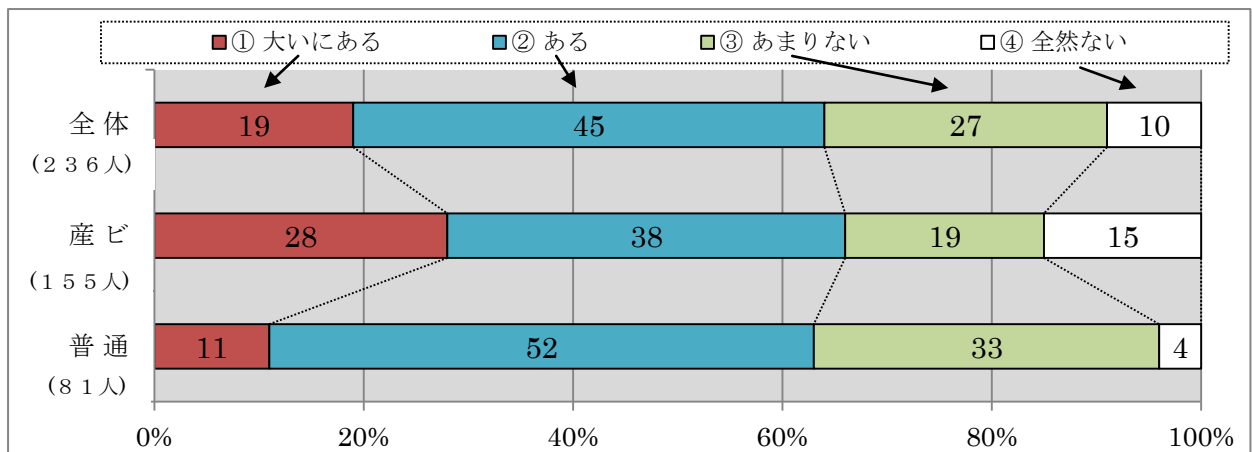
⑤ <高校生> あなたは、将来、神石高原町に住んでみたいと思いますか。



	普通科 (人)				産業ビジネス科 (人)				総計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いに思う	3	0	1	4	9	1	11	21	25
② 思う	10	4	11	25	8	8	12	28	53
③ あまり思わない	12	14	14	40	6	2	6	14	54
④ 全然思わない	1	8	4	13	1	9	1	11	24
小計	26	26	30	82	24	20	30	74	156

考察 ・全体では、「大いに思う」が16%（昨年6%）人数では25人で、昨年度より2.7倍増えている。そして、「思う」は34%（昨年31%）で、合わせると丁度肯定的回答が50%（昨年37%）の1/2である。
 ・「あまり思わない・全然思わない」の否定的回答も50%（63%）で1/2である。
 ・学科別では、「大いに思う」「思う」ともに産ビの方が普通科よりも多い。

⑥ <高校生> あなたは、自分の地元貢献したいという気持ちがありますか。

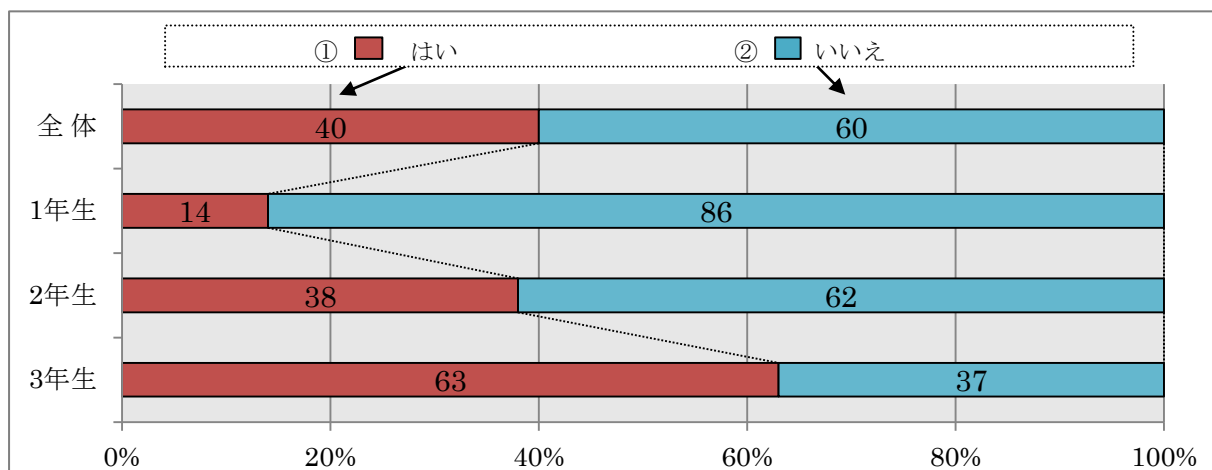


	産業ビジネス科 (人)				普通科 (人)				総計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いにある	9	1	11	21	5	0	4	9	30
② ある	8	8	12	28	17	11	14	42	70
③ あまりない	6	2	6	14	4	11	12	27	41
④ 全然ない	1	9	1	11	0	3	0	3	14
小計	24	20	30	74	26	25	30	81	155

考察 ・全体では、地域貢献意欲が「大いにある」と回答した生徒が19%（昨年13%）で、「ある」を含めた肯定的回答は64%（昨年61%）と半数以上あり、昨年よりも若干ではあるが多いのは喜ばしいことである。

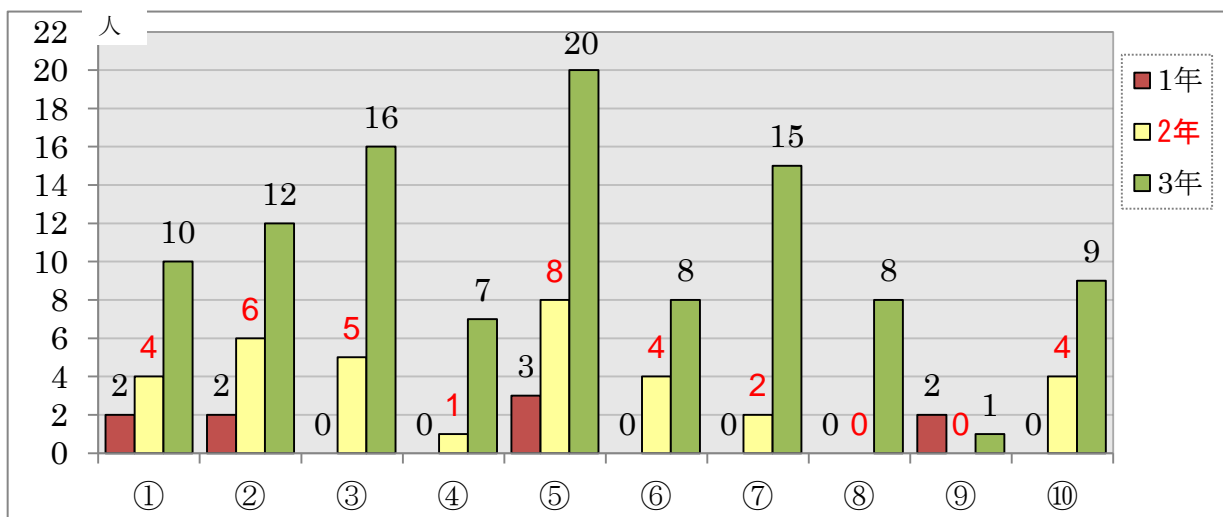
- ・学科別では、地域貢献意欲が「大いにある」と回答した生徒が、普通科(11%)より産ビ科の方が倍以上ある。
- ・学科別&学年別では、肯定的回答が70%以上は産ビ科の1年生(71%)と3年生(77%)、普通科は1年生(85%)だけであった。

7 <中学生> (1) 油木高校のホームページを見たことがありますか。



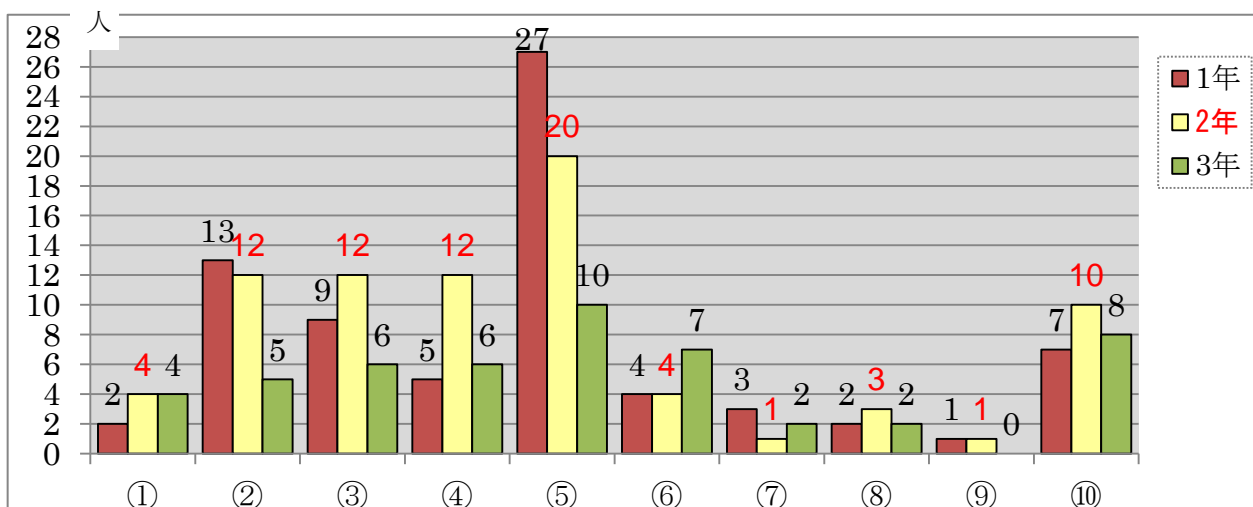
(2) 上記5(1)の質問で「①はい」と答えた人は、下の①～⑩の中で、どのコーナーに興味・関心を持って見ましたか。

- ① 新着情報 ② 学校案内 ③ 学科案内 ④ 施設紹介 ⑤ 学校生活 ⑥ 高校魅力化
 ⑦ 連携型中高一貫教育 ⑧ 入学を希望される方へ ⑨ パソレットがウロド ⑩ オーストラリア姉妹校連携



(3) 上記5(1)の質問で「①いいえ」と答えた人は、下の①～⑩の中で、どのコーナーに興味・関心がありますか。

- ① 新着情報 ② 学校案内 ③ 学科案内 ④ 施設紹介 ⑤ 学校生活 ⑥ 高校魅力化
⑦ 連携型中高一貫教育 ⑧ 入学を希望される方へ ⑨ パソレットダウンロード ⑩ オーストラリア姉妹校連携



考察 ・油木高校ホームページを見たことのある生徒は全体で40%と半分を切っているが、中3生は63%と、やはり高校への関心が高いことが同われる。

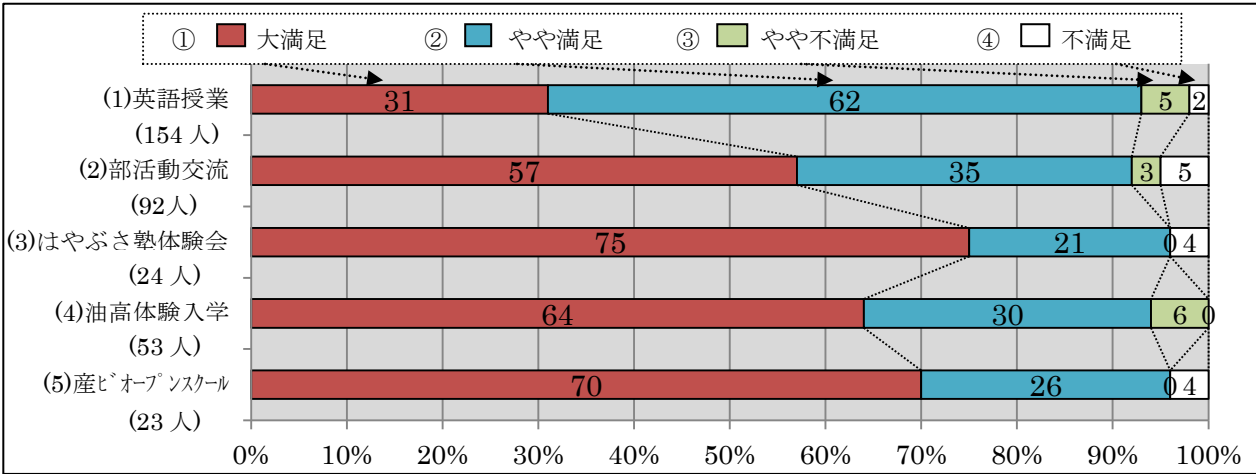
・「見たことがある生徒」で興味や関心の高いものとしては、1位：⑤「学校生活」、2位：③「学科案内」、3位：②「学校案内」、4位：⑦「連携型中高一貫教育」の順であった。

・「見たことがない生徒」で、興味や関心の高いものとしては、1位：⑤「学校生活」、2位：②「学校案内」、3位：③「学科案内」、4位：⑩「オーストラリア姉妹校連携」の順で、多少「見たことがある生徒」と違いがある。

Ⅱ. 「中高連携教育」に関わるアンケート調査 結果と考察

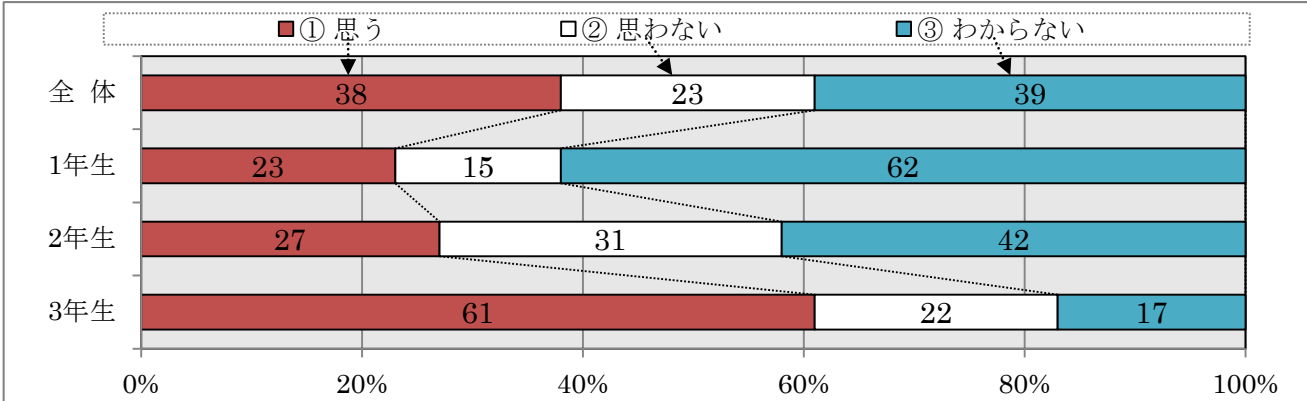
中学生 編

1 本年度、油木高校の先生や生徒さんから指導してもらったり、行事に参加したことがある人は、下の該当する項目のみ、その感想を教えてください。

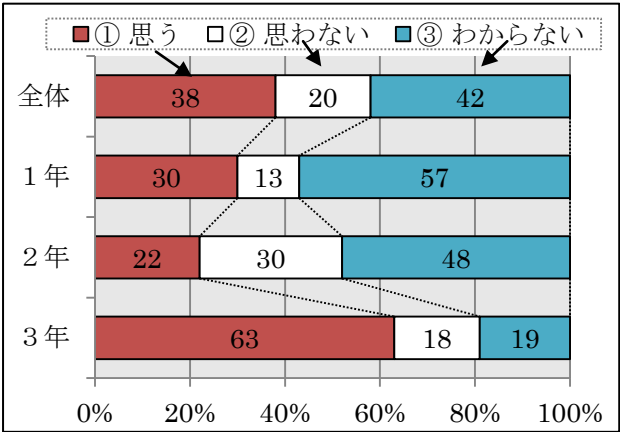


考察 交流授業で「英語」の授業満足度は93%（昨年：95%）が「大満足・やや満足」で、本年度も高い肯定的回答であった。また、その他の項目（部活動・はやぶさ塾・3年体験入学・産ビオープンスクール）においても、90%以上の高い肯定的回答ではあるが、中高教職員のアンケートの中でそれぞれに課題をあげていただいているので、関係部署を中心に検討され、より一層充実した連携教育活動が展開されていく必要がある。

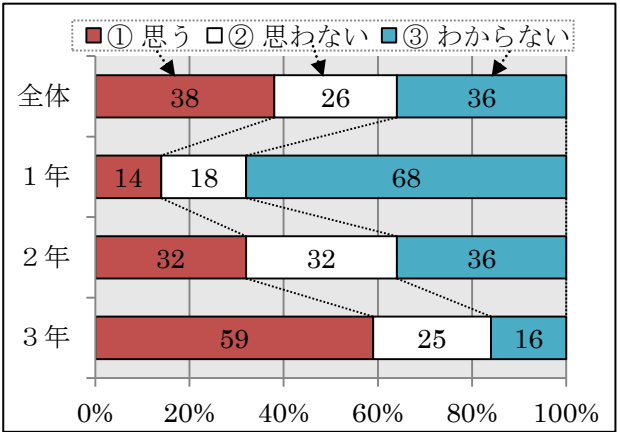
2 (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。
 < 2校全体では >



< 三和中 >



< 神石高原中 >



考察 ・2校全体では、油木高校へ進学したいと「思う」は38%（前年43%、前々年41%）とやや減少しているが、これは1,2年生の数値23%・27%（昨年24%・49%）と低かったことが影響している。

・全体の学年別では、3年生の「思う」が久しぶりに60%以上（過去においてはH25年62%、H26年63%、H27年67%）であった。一方、1,2年生については、例年と同様に「思う」数値が20%台で低い。

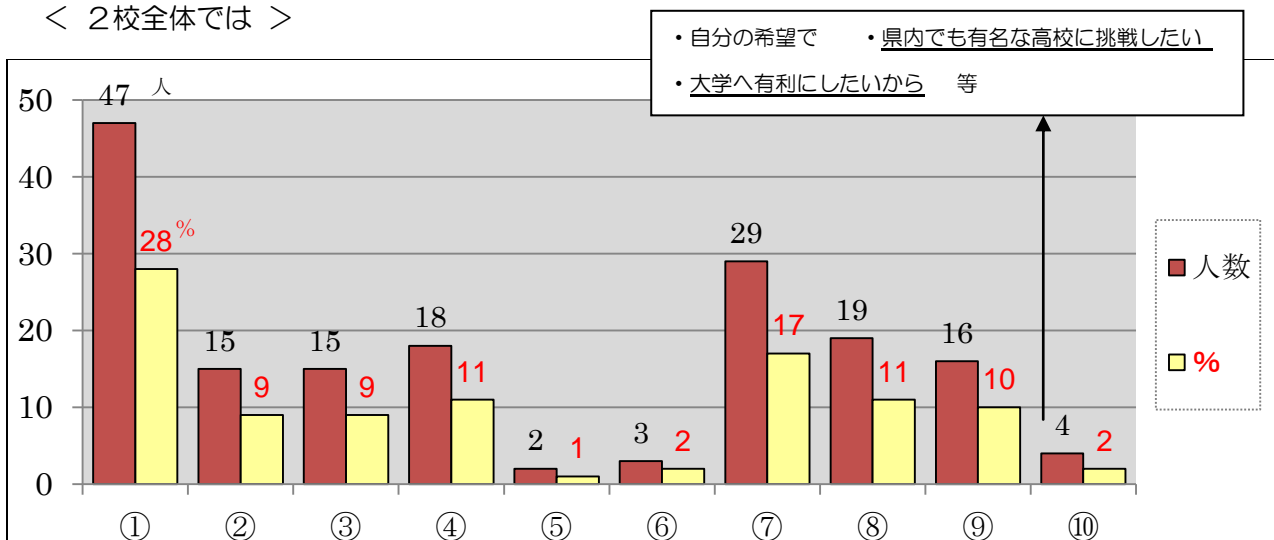
・学校別では、両校ともほぼ同じような数値となっている。

・毎年確認していることで、油木高校への地元率は60%以上を目標に、尚かつ町内外の生徒を合わせて学年54人以上（油木高校の学年定員80人の2/3以上：県教委の統廃合指針数値）の生徒確保が重要である。この数値をお互いに共有し合って取り組んでいく必要がある。

(2) 3(1)の質問で「①（油木高校へ進学したいと）思う」と答えた人で、その理由と思うものを次の中から選んでください。（複数回答可）

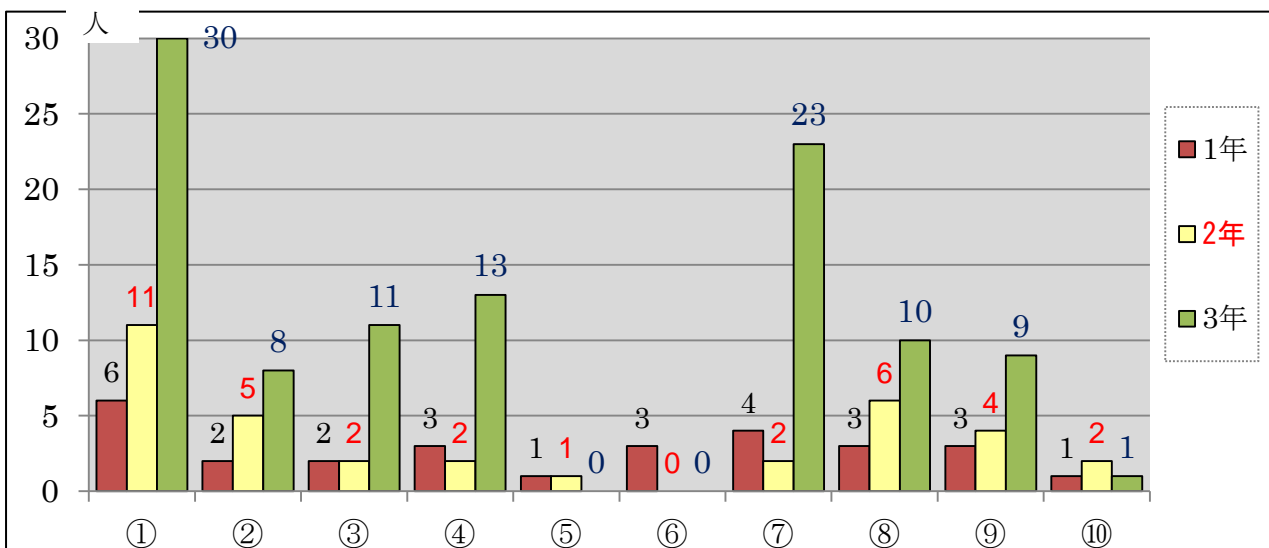
- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
⑦ 町の支援（サテライン、公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他

< 2校全体では >



< 学年別の人数では >

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
⑦ 町の支援（サテライン、公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他



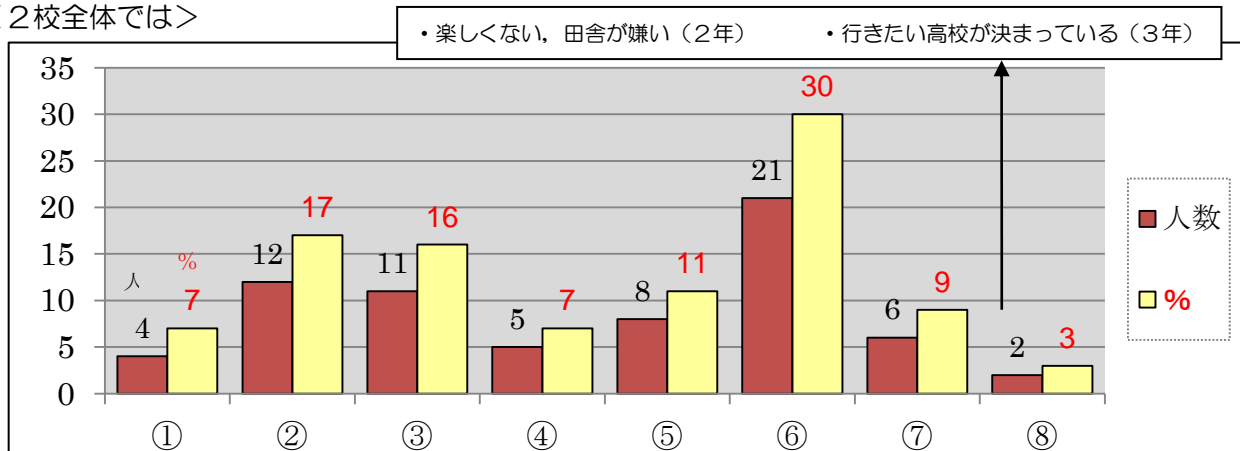
考察 ・2校全体で多い順は、1位：①「通学が便利」(28%)、2位：⑦ 町の支援(サテライン、公営塾、海外研修等)がある(17%)、3位：⑧ 親・家族の薦め(11%)となっている。

・学年別で特徴的なものとしては、2・3年生が上記の三つ以外に ④「クラブ活動面」、③ 教育内容面、⑨「友人関係」と多くの項目を理由に挙げている。これは、油木高校の良さを多方面にわたって感じているものと思われる。また、どの項目においても3年生の数値が一番高い。

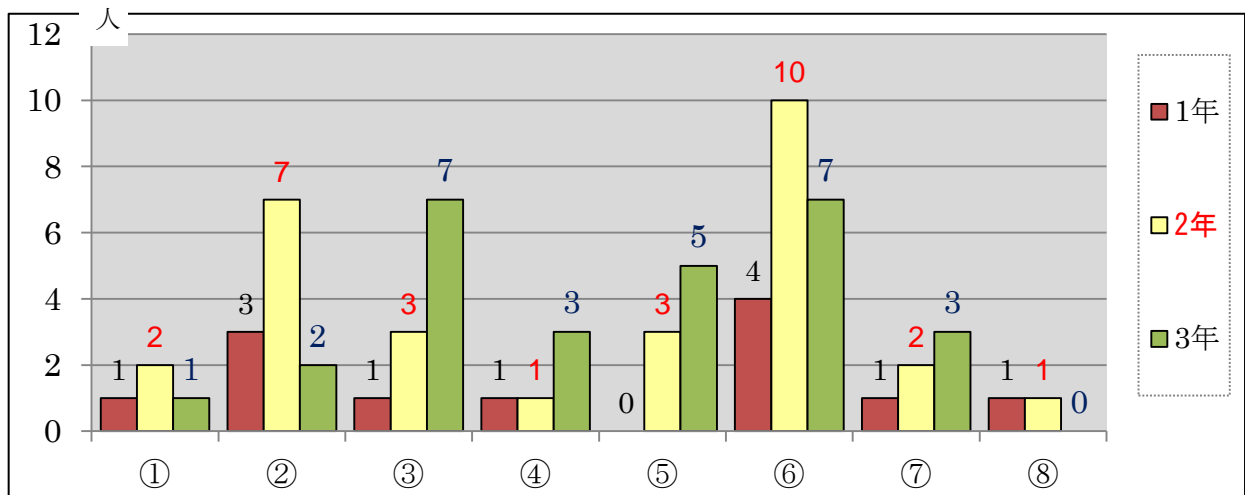
(3) 3(1)の質問で「②(油木高校へ進学したいと) 思わない」と答えた人で、その理由と思うものを次の中から選んでください。(複数回答可)

- | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便 | ② 教育内容面 | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係 | ⑧ その他 |

<2校全体では>



<各学年別の人数では>



考察 ・2校全体で多いのは、1位：⑥「高卒後の進路面」(30%)、2位：②「教育内容面」(17%) 3位：③「クラブ活動面」(16%)、となっており、ほぼ例年と同様である。

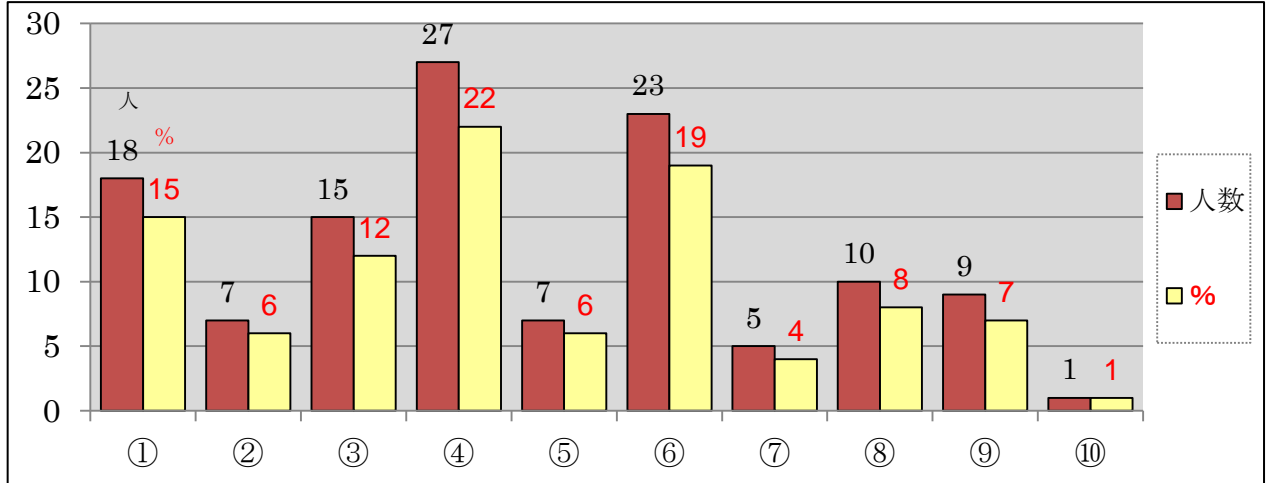
・例年「思わない」理由の中で、⑥「高卒後の進路面」が最も多い。それだけに「油木高校の進路指導や進路実績」を中学生に分かりやすく説明したり、ホームページ上で紹介していくことが必要である。

・各中学校において、油木高校生(特に出身中学生)が頑張っている姿を機会あるごとに後輩中学生に語って頂いたり、直接高校生が中学生に話していく機会(例：高校進路説明会、油高生による進路学習会など)が持てれば、大変効果があると思われる。←(高校は中学校へ随時しっかりと進路に係る情報提供をしていく)

(4) 3(1)の質問で「③ わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択する（高校を選ぶ）上で、重要視したいことはどんなことですか。下記の①～⑩の中から重要視したいものを2つ選び、番号で教えてください。

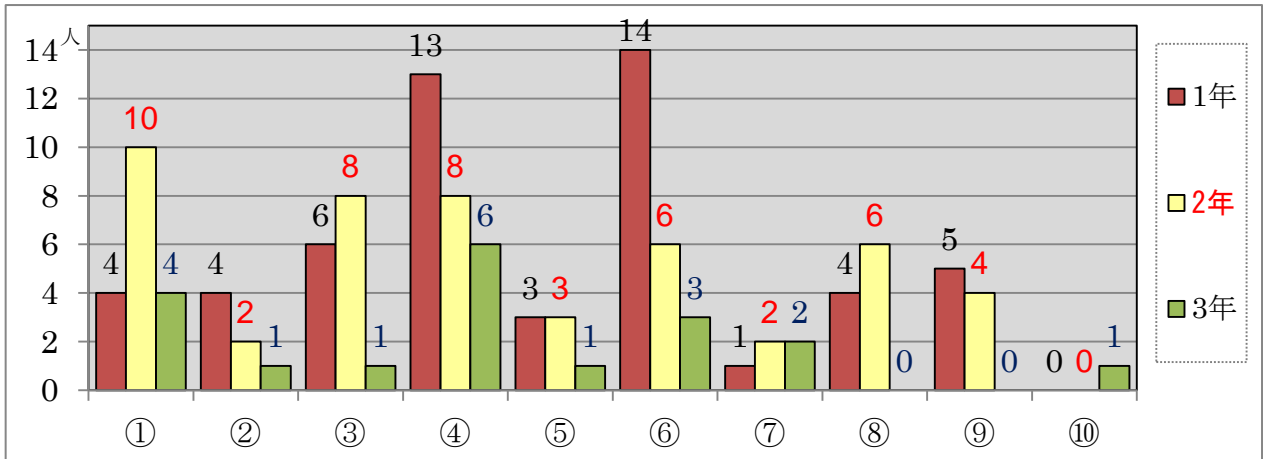
- | | | | | |
|----------|----------------|------------|---------|---------|
| ① 通学便 | ② 伝統や校風 | ③ 進路実績 | ④ 教育内容面 | ⑤ 施設設備面 |
| ⑥ クラブ活動面 | ⑦ 市町からの色々な支援制度 | ⑧ 親や家族のすすめ | ⑨ 友人関係 | ⑩ その他 |

<2校全体では>



- | | | | | |
|----------|----------------|------------|---------|---------|
| ① 通学便 | ② 伝統や校風 | ③ 進路実績 | ④ 教育内容面 | ⑤ 施設設備面 |
| ⑥ クラブ活動面 | ⑦ 市町からの色々な支援制度 | ⑧ 親や家族のすすめ | ⑨ 友人関係 | ⑩ その他 |

<各学年別の人数では>

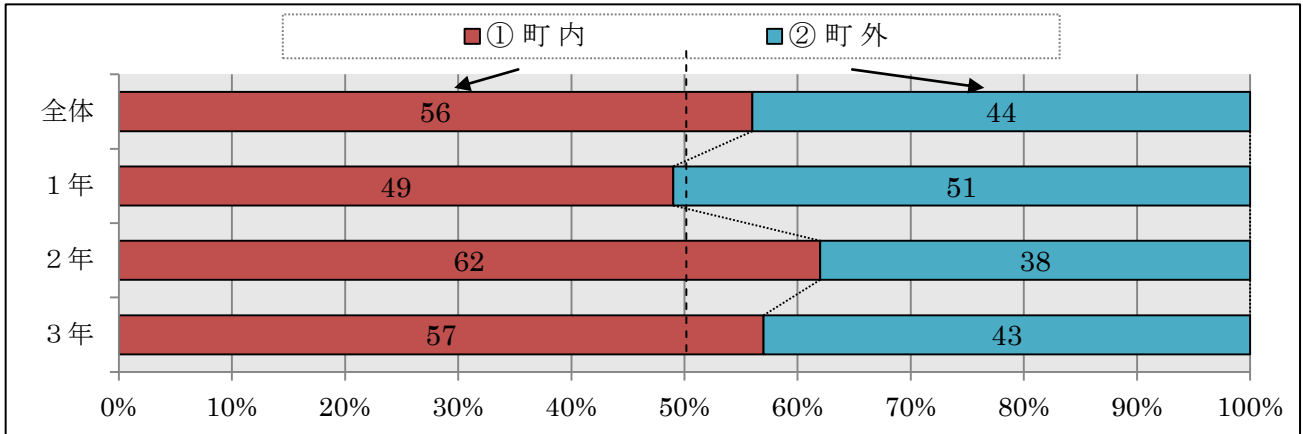


考察 ・2校全体で多い順は、1位：④「教育内容面」(22%)、2位：⑥「クラブ活動面」(19%)、3位：①通学便(15%)となっており、これまでは、1位：⑥「クラブ活動面」、2位：③「進路実績」、3位：④「教育内容面」で、少し変化がみられる。

・各学年別に見たときの特徴としては、1年生は⑥「クラブ活動面」や④「教育内容面」が他学年に比べて多く、2年生は①「通学便」が最も多い。次いで③「進路実績」や④「教育内容面」となっている。3年生は④「教育内容面」、①「通学便」、⑥「クラブ活動面」の順に多く、多少学年によって違いがある。

・年度によって多少の違いはあるものの、生徒が高校選択する時の重要項目としては、④「教育内容面」、⑥「クラブ活動面」、③「進路実績」に収れんできる。よって、それらが充実していくような取り組みや支援策を今後も検討していく必要がある。

1 あなたの出身中学校は、どちら（町内・町外）ですか。



<学年別・学科別の人数表>

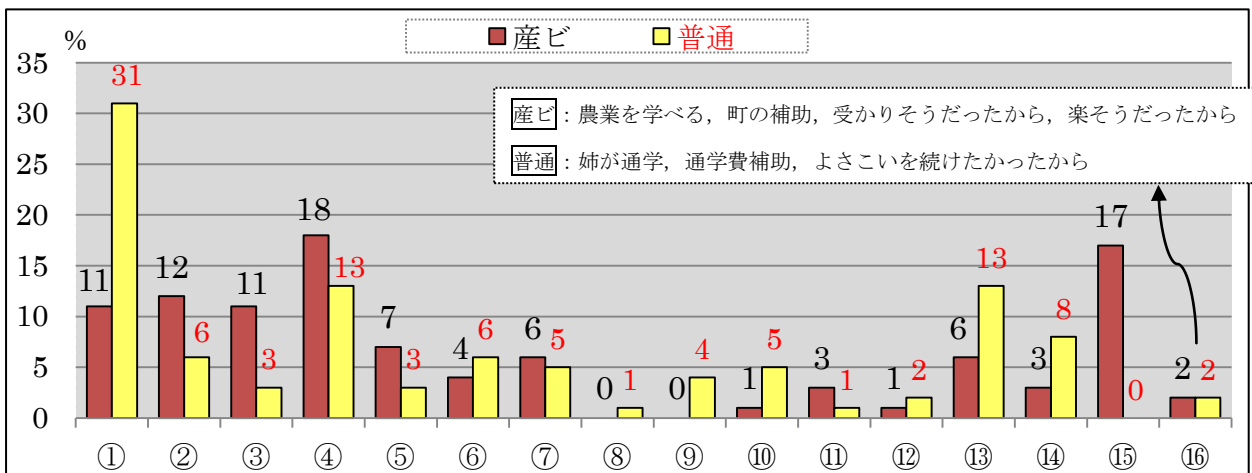
(人)

	産業ビジネス科			普通科			計		
	町内	町外	計	町内	町外	計	町内	町外	計
1年生	8	19	27	19	9	28	27	28	55
2年生	8	15	23	25	5	30	33	20	53
3年生	6	25	31	31	3	34	37	28	65
計	22	59	81	75	17	92	97	76	173

考察 ・学科別では、町外生が普通科よりも産業ビジネス科の方が断然多いが、普通科も年々増加傾向にある。
 ・学年別でみた時、これまで町内生の方が町外生を下回ってはなかったが、本年度はじめて逆転した。

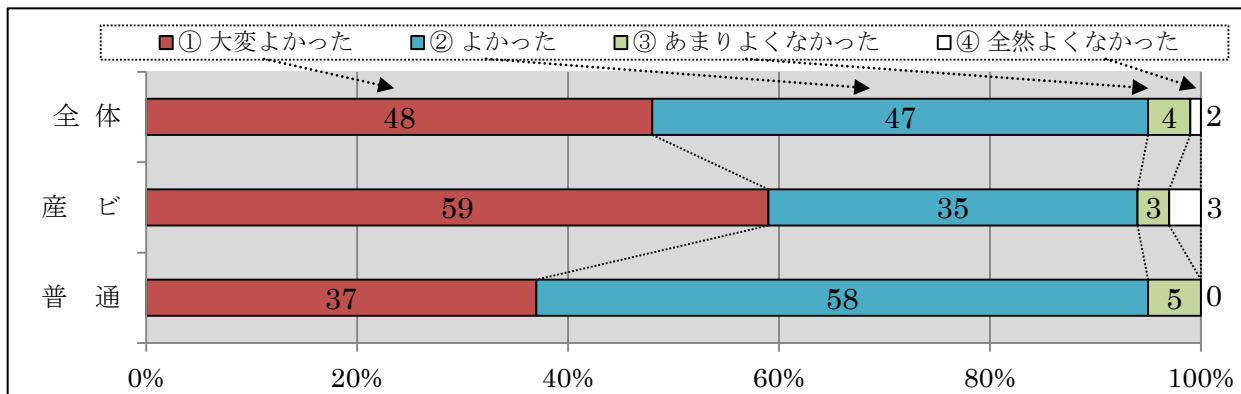
2 あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。下の①～⑯から該当するものを全て選んでください。(複数回答可)

- ① 自宅から近い
- ② 親・家族の薦め
- ③ 先生の薦め
- ④ 自分の希望
- ⑤ 教育内容面
- ⑥ 部活動面
- ⑦ 察がある
- ⑧ 通信衛星授業がある
- ⑨ はやぶさ塾がある
- ⑩ 海外研修がある
- ⑪ 進路実績
- ⑫ 評判
- ⑬ 友人関係
- ⑭ 経費が安い
- ⑮ 学科への興味
- ⑯ その他 ()



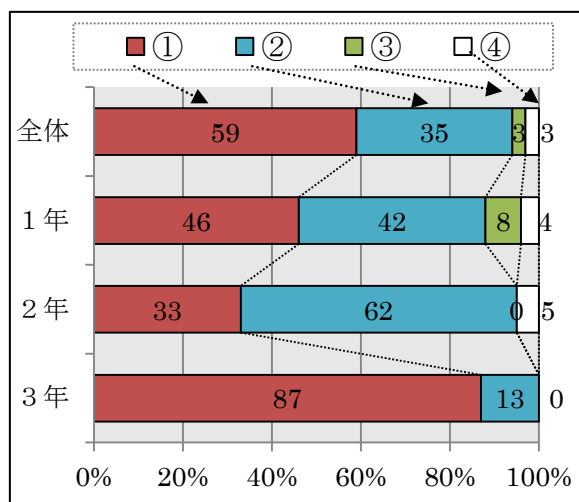
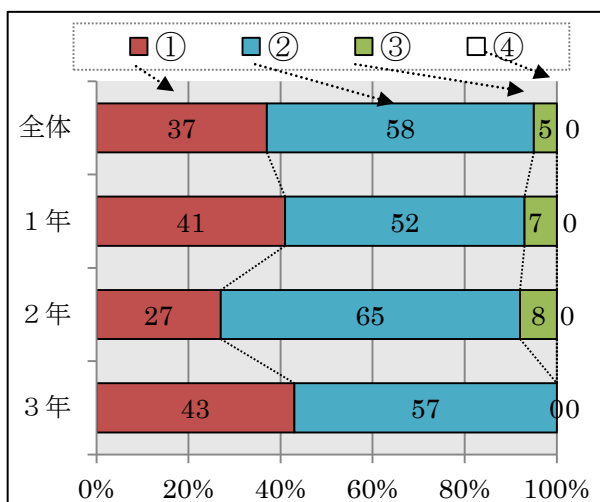
考察 ・全体的には、①「自宅から近い」④「自分の希望」②「友人関係」の順に多い。
 ・学科ごとにみると、普通科は圧倒的に①「自宅から近い」が多く、産業ビジネス科では、④「自分の希望」や⑯「学科への興味」が特に多いのが特徴としてあげられる。

③ あなたは油木高校へ進学して、どうでしたか。



< 普通科 >

< 産業ビジネス科 >

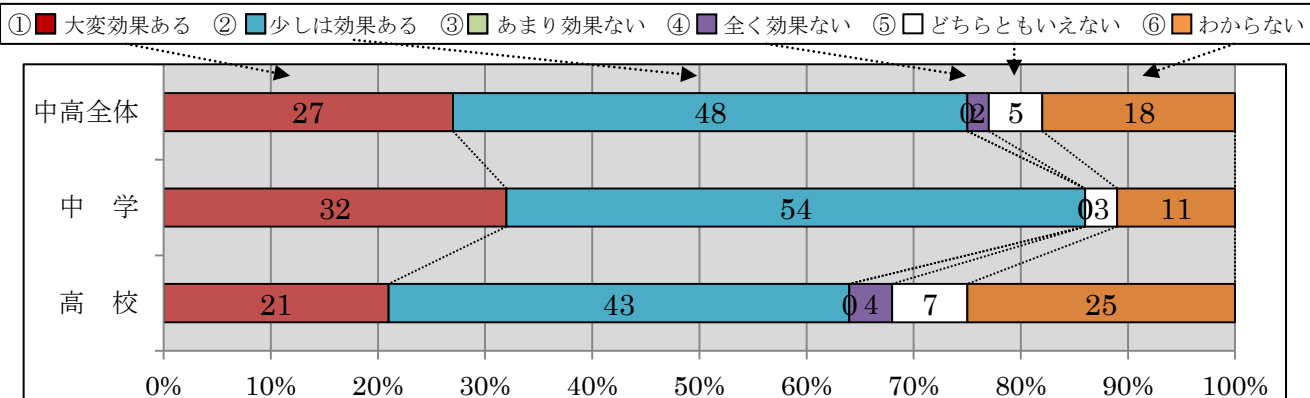


考察 ・全体では、例年と同様に多くの生徒（95%：昨年度89%）が「よかった」と肯定的回答をしている。
 ・学科ごとにみると、「大変よかった」とする者が、産業ビジネス科全体で59%と半数以上であるが、普通科は37%であった。反対に「よくなかった」とする否定的回答をしている生徒は、産ビ6%、普通科5%であった。その中で、「全然よくなかった」とする生徒は、産ビ3%、普通科0%であった。
 ・学年ごとでは、3年生の産ビ科、普通科ともに全員が「よかった」の肯定的回答をしており、しかも産ビ科3年生の87%が「大変よかった」と非常に高い肯定的回答をしているのが特徴的である。

中・高 教職員編

① 中高連携の中で、交流授業、部活動交流、学校行事への参加、教職員の交流などが実施されていますが、連携教育の効果についてどう思われていますか。

(1) 定例的交流授業（高→中：英語、中→高：音楽・英語）について、どう思われていますか。



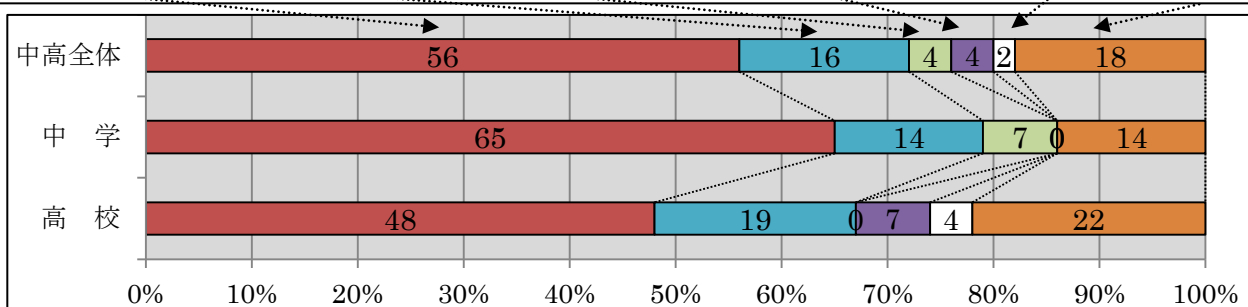
<推進上の課題>

(中)・時間割編成にかかる打合せの必要がある ・他教科も多くの交流(国、数など)があると良い
 ・活用方法について更なる研究が必要 ・業務として所属校での人事、分掌上で配慮が必要

(高)・交流による成果(生徒の様子、課題、取り組みの工夫)が校内で共有できていない ・本務校での授業が少ないこと ・他教科での交流も必要 ・全ての科目で交流するべき(頻度は少なくとも)
 ・本務校を離れるなどの意義ある指導活用に改善必要 ・中高連携が5年ぐらい経つと思うが、学力が向上したなど数字で示されないと分からない ・中学校の英語については効果があるのかは分からない
 が、高校での英語の授業交流は効果があると思う ・英語に関しては向上していると思う。それ以外はよく分からない ・高校入学時の英語レベルを見ると効果があるとはいえません ・互いの交流により実態を把握できるが、それをどう生かせるか

(2) 部活動交流について、どう思われていますか。

① 大変効果ある ② 少しは効果ある ③ あまり効果ない ④ 全く効果ない ⑤ どちらともいえない ⑥ わからない



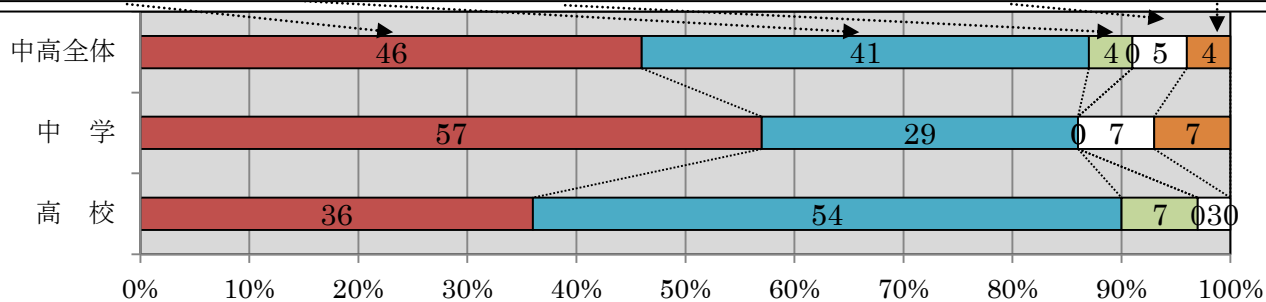
<推進上の課題>

(中)・活動頻度の限界がある ・移動手段が難しい ・日程調整の必要がある ・効果があると思うが実施できていないので是非交流したい ・時間帯を合わせにくいため、継続的な活動にならない ・限られた部活動のみになるので、部によってはメリットがない

(高)・移動手段 ・交流回数、特に三和中とは距離もあり難しい ・交流が行われているとは思えない ・交流数がやや少ない ・クラブによって熱量が違う。テニスや卓球は中高どちらも熱いので効果有り ・顧問が生徒を引率したり、勤務時間外になる

(3) 学校行事(オープンスクール・学習成果発表会など)への参加について、どう思われていますか。

① 大変効果ある ② 少しは効果ある ③ あまり効果ない ④ 全く効果ない ⑤ どちらともいえない ⑥ わからない



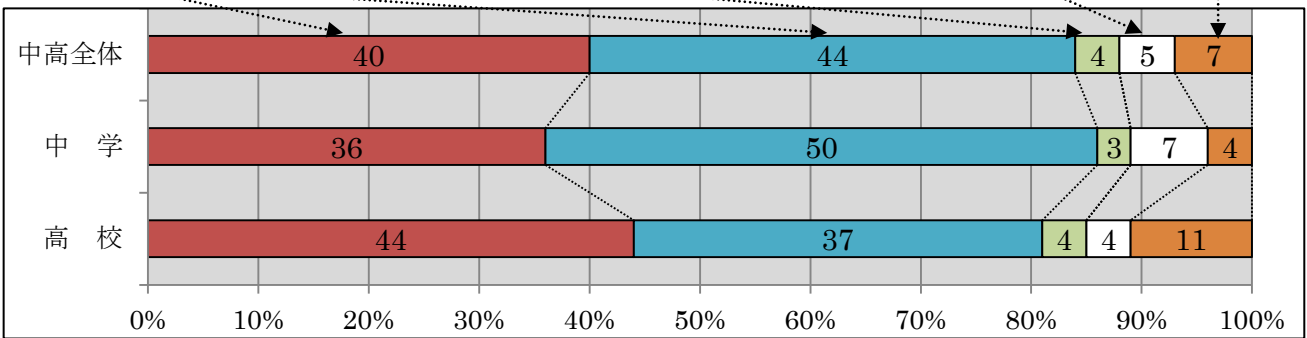
<推進上の課題>

(中)・日程調整の必要がある ・近い将来の自分を思い描くことができる

(高)・オープンスクールは効果があるが学習成果発表会は検討が必要 ・成果が分からない ・種まきをさせました。非常に喜んでいました ・交流のねらいが定められる行事に絞られてきているのでよいと思う ・見学自体が強制になっており、中学生へうまく取り組みが入っていない ・参加しているだけという感じで、交流に全く深みがない ・地元の高校への進学を是非アップしたい

(4) 教職員の交流（教科部会・教科外部会など）について、どう思われていますか。

① 大変効果ある ② 少しは効果ある ③ あまり効果ない ④ 全く効果ない ⑤ どちらともいえない ⑥ わからない



<推進上の課題>

(中)・日程調整の必要がある

(高)・育てたい生徒像について中高で話しをするなど有効機会が増えた方がよい
 確でない
 ・中高の意見交換が出来るのはとてもメリットがあると思う
 (研究授業など負担をかけずに)
 ・授業交流になかなか参加できない

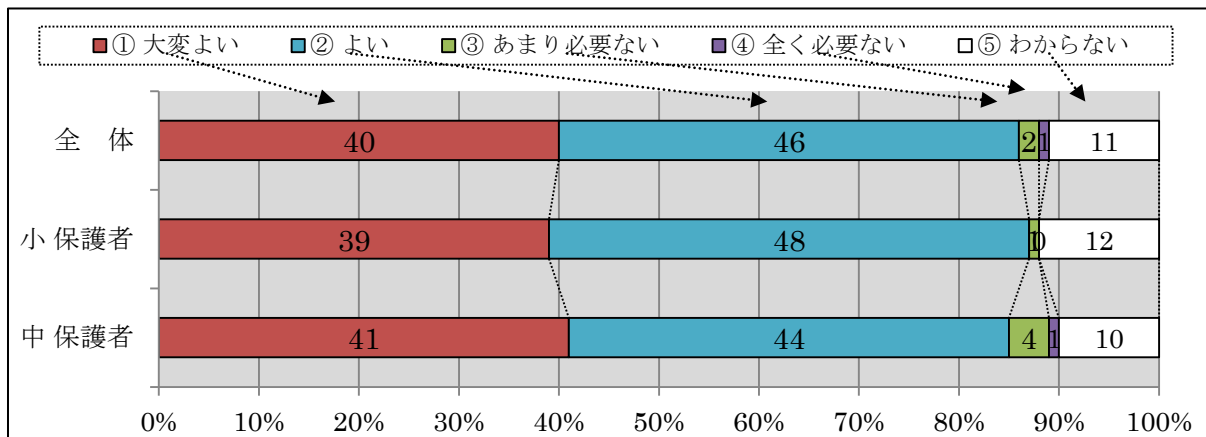
・具体的な目当てと取り組みの成果が明
 ・もっと気軽に授業交流をした方がいい

考察 ・中高全体では、どの項目も「①大変効果がある、②少しは効果がある」とする肯定的回答が70%以上である。そして、いずれの項目も高校より中学校の方が概して評価が高い。

・本年度も各質問項目に関わる「推進上の課題」等をいろいろと挙げていただいているので、一つ一つ中高一貫教育推進委員会（事務局会）等で検討していく必要がある。また、教科に関わっては町研教科部会などでも話し合ってみる必要がある。

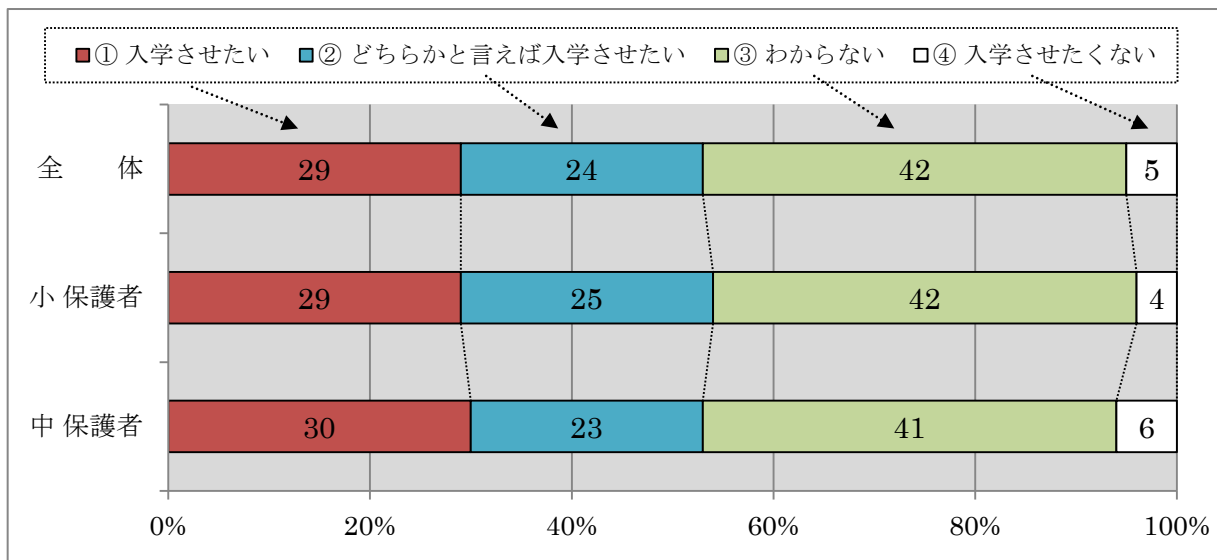
小・中 保護者 編

1 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。

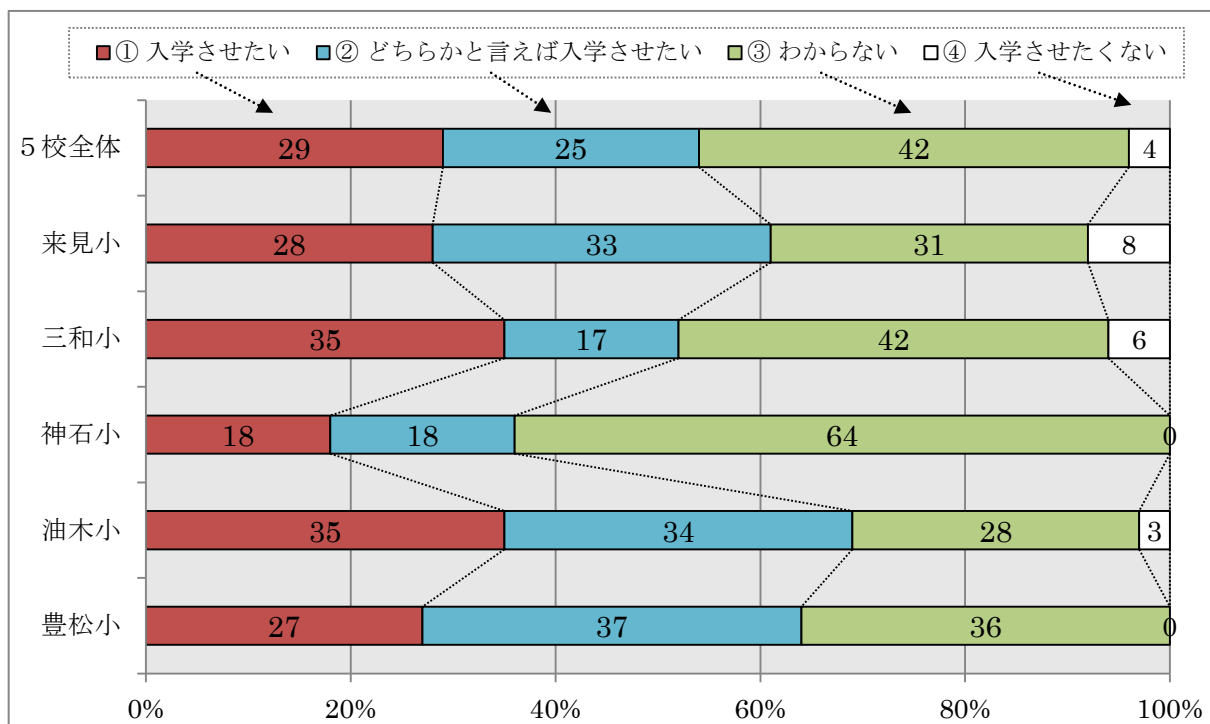


考察 全体としては「大変よい・よい」とする肯定的回答86%（昨年82%）、「あまり必要ない・全く必要ない」の否定的回答3%（昨年4%）と大きな変化はない。また、「わからない」とする数値が11%（昨年14%）と小・中学校共に10%以上あり、それを埋めていくには、中高連携教育の柱と位置付けている「総合的な学習の時間」の「地域学」を高校でどう完成させていくかが重要ポイントではないかと考える。

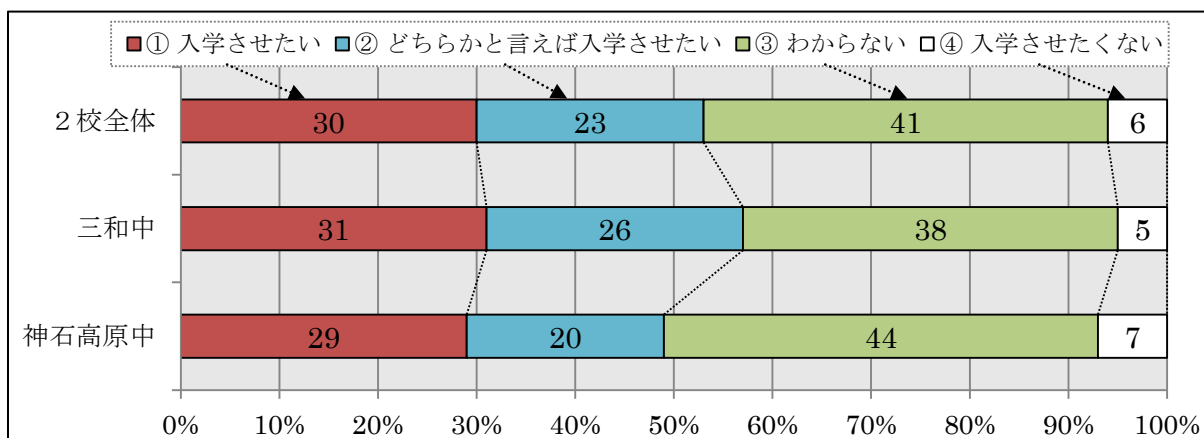
② あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。



<各小学校別では>



<各中学校別では>

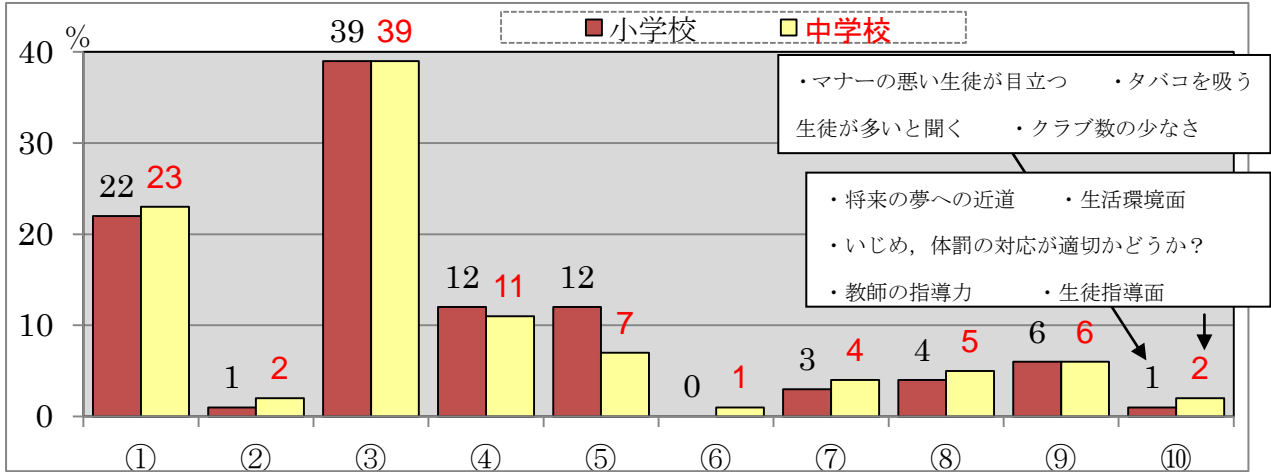


考察 ・全体としては、「入学させたい」肯定的回答は53%（昨年46%、一昨年48%）で少しながら増加した。

- ・小中学校別では、どの項の回答も小学校と中学校の差は1～2%内で、ほとんど差は見られない。
- ・各学校別の小学校では、「入学させたい」肯定的回答50%以上が4校（昨年1校）である。中でも、油木小学校は69%という高い肯定的回答である。
- ・中学校においては、両校とも「入学させたい」回答率がほぼ50%以上であるが、小中学校共に「わからない」の回答が多だけに、今後の取組みによって「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

③ 子どもの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。 下の①～⑩の中から重要視したいものを2つ選んでください。

- ① 通学便 ② 伝統や校風 ③ 子ども本人の希望 ④ 学習環境面 ⑤ 教育内容面
 ⑥ 施設設備面 ⑦ クラブ活動面 ⑧ 進路実績 ⑨ 経費面 ⑩ その他

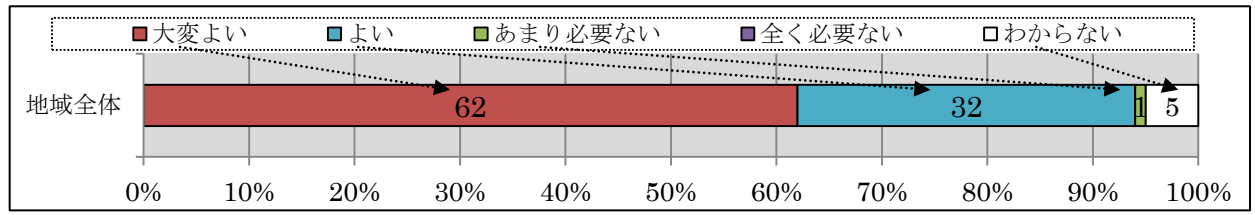


考察 ・小学校と中学校を比較した時、例年のごとくほとんど同じような傾向にある。即ち、高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことでは、③「子ども本人の希望」が小中学校共に際立って多く、続いて①「通学便」④「学習環境面」⑤「教育内容面」である。

これらのことから、保護者の多くが「子ども本人の希望」を最優先される傾向にあり、児童・生徒への油木高校の理解や関心を深めていく取組みが重要である。また、「通学便」もかなり重要度が高いことから、町としてできる支援策を今後においても検討しながら、魅力アップにつなげていく必要がある。

地域編

① 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



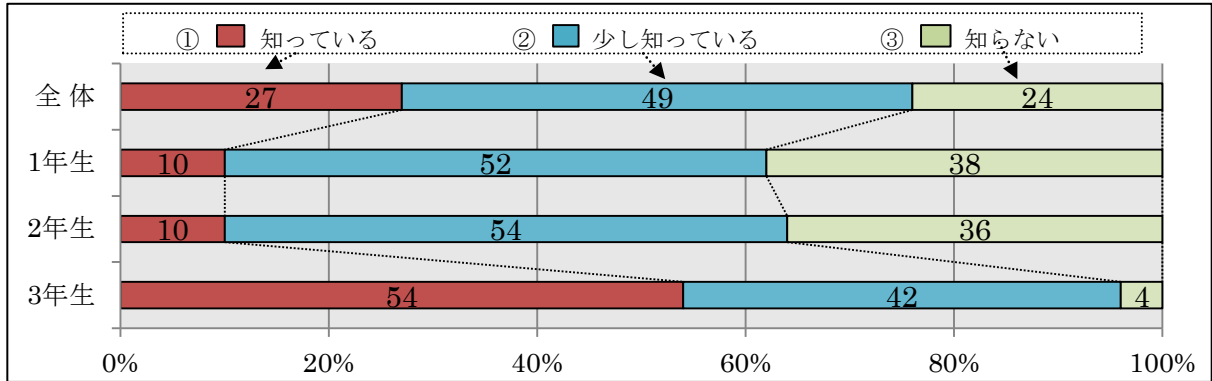
考察 地域の多くの方々（94%）は、中高連携教育を「よい」とする肯定的回答であるが、極少数ながら「あまり必要ない」との否定的回答は（1%）であった。今後更なる中身の充実を図り、情報提供していく必要がある。

Ⅲ. 「油木高校生への町支援」に関するアンケート調査 結果と考察

中学生 編

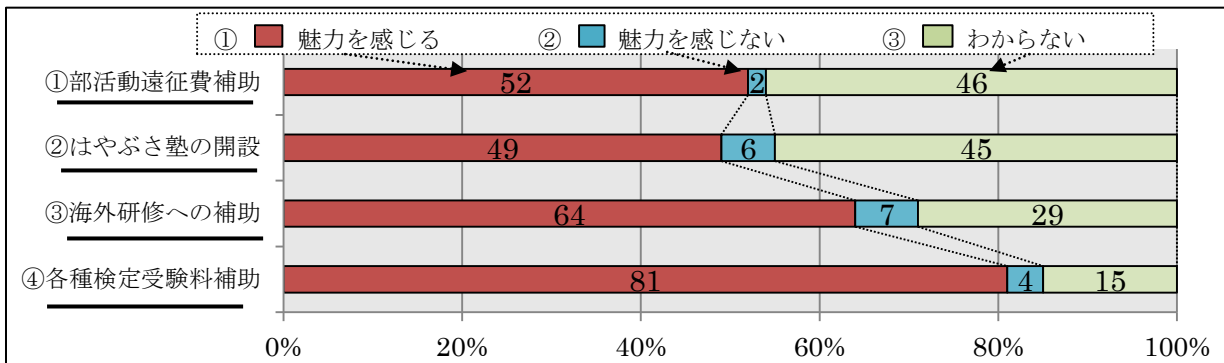
1 本町では「油木高校の魅力づくり」として、色々な支援（部活動遠征費補助・学習支援塾「はやぶさ塾」の開設・海外＜短期・長期＞研修事業への支援・各種検定受験料の補助）などを実施していますが、そのことについて質問します。

(1) 油木高校への色々な支援内容について知っていますか。

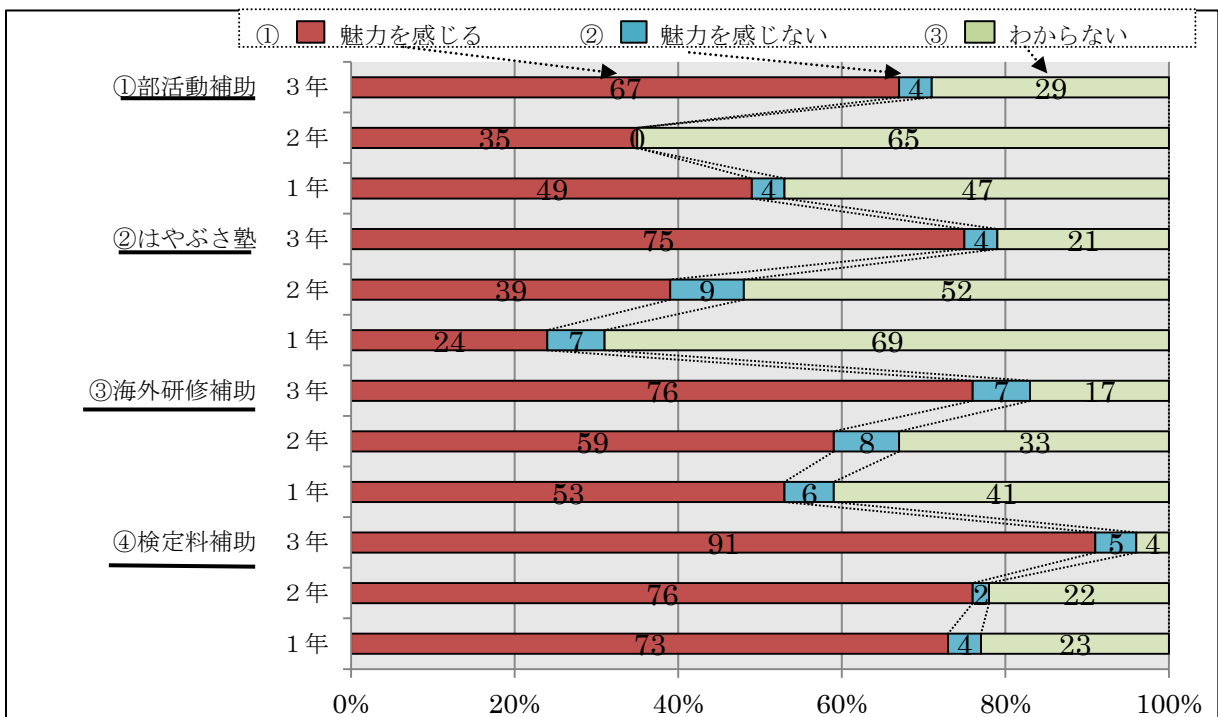


(2) 次のような支援（① 部活動遠征費補助 ② はやぶさ塾の開設 ③ 海外短期長期研修への補助 ④ 各種検定受験料の補助）についてどう思いますか。

< 2校全体では >



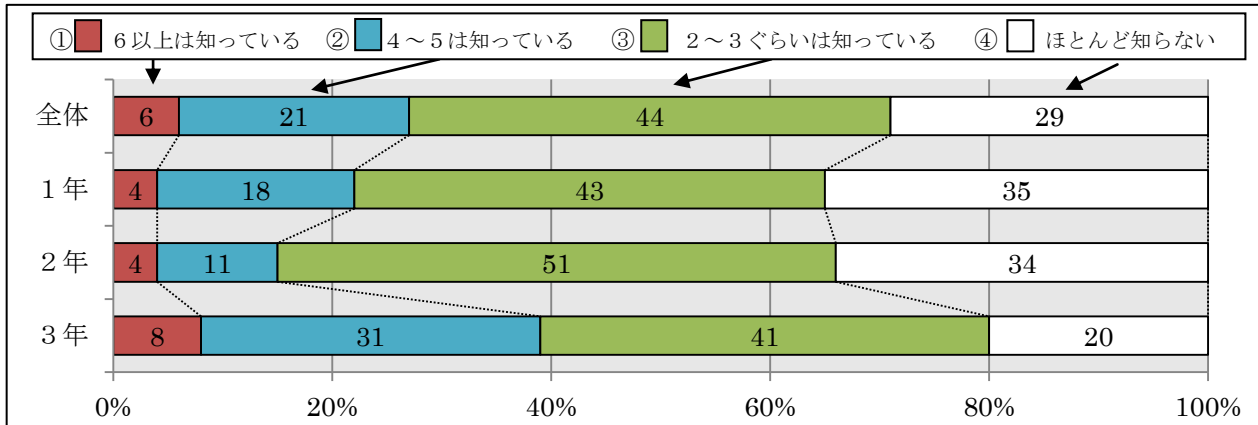
< 学年別では >



考察 ・支援内容の認知度「知っている」は、3年生が54%で、これは油木高校生のどの学年よりも高い。
 ・1, 2年生は「知らない」が30%台と1/3いるので、今後も情報提供は必要である。
 ・支援の魅力度の2校全体では、「魅力を感じる」が50%以上を占めているのは、昨年度は2項目しかなかったが、本年度は全項目ともだいたい50%以上であった。
 ・学年別で見た時、いずれの項目も3年生の評価が一番高く、どの項目も60%以上「魅力を感じる」と回答している。一方、「わからない」とする回答も多くあり、引き続き情報提供に努めていく。

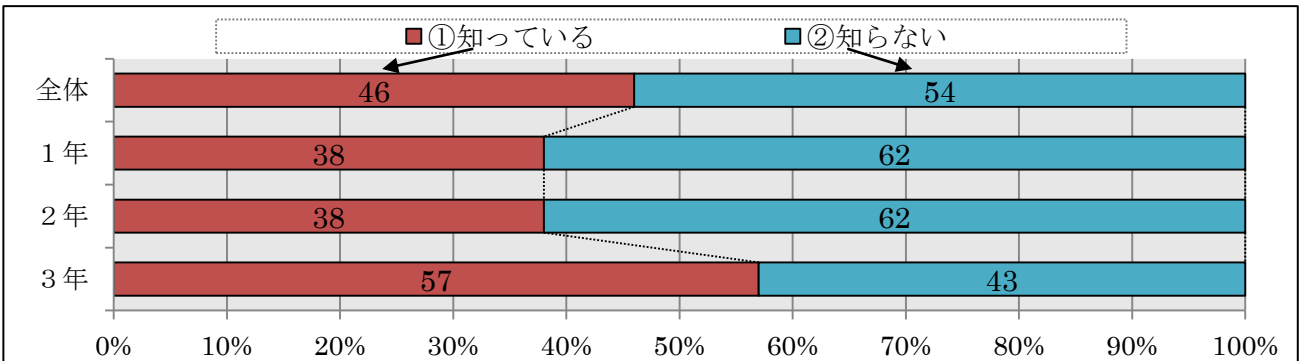
高校生 編

1 本町では本年度「油木高校生への8つの支援」を実施していますが、その内容について知っていますか。



考察 「6以上は知っている」が全体で6%と認知度が非常に低い。中でも「ほとんど知らない」が29%あり、本町役場関係課において今後も引き続き周知活動に努めながら、油木高校の魅力をアピールしていく必要がある。
 なお、「油木高校生への8つの支援」リーフレットの学校送付時には、機会を捉えて生徒への紹介をお願いします。

2 Q1 「はやぶさ塾」では、どんな方法で何の学習をしているのか知っていますか。



Q2 本年度、「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください。→ あなたの受講状況を教えてください。

	前期・後期とも受講				前期だけ受講				後期だけ受講			
	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)
産ビ科	0	0	1	1	1	0	2	3	0	0	0	0
普通科	7	7	5	19	1	2	4	7	3	0	0	3
計	7	7	6	20	2	2	6	10	3	0	0	3

Q3 「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください → 参加してみたの感想はいかがですか。

		① 大満足 ② 満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満			
	普通科 (1・2・3年)	産ビ科 (1・2・3年)	計 (%)	理由	
①	4人 (1・2・1人)	1人 (0・0・1人)	5人 (10%)	・「分からないから教えてください」と言ったら、すぐ教えてもらえた。	
②	18人 (10・6・2人)	3人 (1・0・2人)	21人 (42%)	・復習や予習がしやすい。・テストの点が上がった。・数学で今習っている所を詳しく教えてもらえ、面倒見がよい。・集中して学習に取り組める。・分からない所を丁寧に教えてもらえる。・苦手な教科をすることが出来るので、とても良い。・検定を受ける時勉強が出来る。	
③	18人 (0・5・13人)	5人 (0・0・5人)	23人 (46%)	・検定のプリントができるから良い。・4年制大学や英検、漢検を受験する場合は良いと思う。・ <u>学習時間が欲しくて行ったので、プリントではなく自分のペースで進めたかった。</u> ・ <u>個人へのサポートが十分でない。</u> ・ <u>自分の能力に合わなくて、ついて行けなくなった。</u>	
④	1人 (1・0・0人)	0人 (0・0・0人)	1人 (2%)		
⑤	0人 (0・0・0人)	0人 (0・0・0人)	0人 (0%)		

考察 ・はやぶさ塾での指導方法や内容に係る周知度が50%以下と低いが、毎年入塾体験期間は設けている。
 ・昨年度から指導教科や時間帯を増やして実施しているが、その受講者数は33名(昨年度：45名)で、そのうち通年者は20名(昨年度：26名)と、昨年度より減少している。
 ・7月～3月までは、前半(16:00～18:00)・後半(18:30～20:30)の2部制で実施しているが、両方(4時間)とも受講している生徒は、3年生5名で、時々受けている生徒は1年生3名いた。
 ・受講者の評価としては、「大満足・満足」との肯定的評価が52%と半分以上である。反対に「やや不満・不満」との否定的評価は2%であった。
 ・昨年度から塾に参加してもバスで帰宅できる配慮もなされており、前半だけ(16:00～18:00)の参加者は1年生4人、3年生7人が受講している。

※1, 2年生のみ教えてください。

Q4 来年度、「はやぶさ塾」に参加しますか。

① 参加したい ② 参加したくない ③ わからない

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 参加したい	13人	7人	20人 (38%)	0人	0人	0人 (0%)	20人 (21%)
② 参加したくない	3人	7人	10人 (19%)	6人	19人	25人 (56%)	35人 (36%)
③ わからない	10人	12人	22人 (43%)	18人	2人	20人 (44%)	42人 (43%)

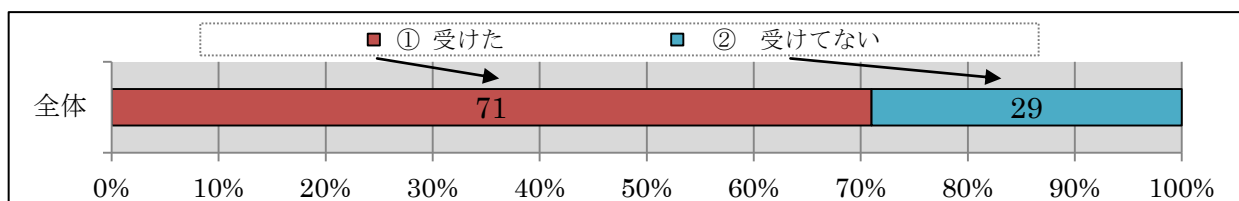
考察 現時点での「受講希望者」は、20人（21%）（昨年度：12人の11%）で増加している。しかし、受講許容人数は50人であるだけに、「わからない」が43%と約半数いるので、新1年生も含めて、十分な紹介が必要である。

③ 本町では油木高校生に対して各種検定受検料の補助（合格者のみ）をしていますが、本年度、これらの制度を利用したことがありますか。

	普通科				産業ビジネス科				総計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
英語検定	8	3	4	15	1	2	2	5	20
漢字検定	1	9	4	14	1	2	6	9	23
数学検定	0	0	0	0	0	0	1	1	1
小型車両系建設機械（整地等） 小型フォークリフト特別教育講座	0	0	1	1	1	0	8	9	10

考察 ・英語検定、漢字検定の利用者は両学科ともに多いが、数学検定は極少数である。また、小型車両系建設機械小型フォークリフト特別講習の利用者の多くは産業ビジネス科生である。

④ 町外からバス通学している生徒で、本年度「定期券購入費の50%補助」を受けましたか。
（本年度の町外生は 76名）



考察 ・補助を利用していない町外生は22人（29%）で、そのほとんどが寮生（寮の収容人数36人+2人）のようなので、実質の利用率はほぼ100%で、非常に高い利用率である。この制度は町外の関係者から歓迎されており、油木高校の大きな魅力の一つではある。

⑤ 次の質問については、1、2年生のみ教えてください。 ① 希望あり ② 希望なし ③ わからない

Q1 来年度、オーストラリア海外研修への参加希望がありますか。

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 希望あり	8人	3人	11人 (22%)	2人	2人	4人 (9%)	15人 (16%)
② 希望なし	13人	14人	27人 (53%)	12人	19人	31人 (69%)	58人 (60%)
③ わからない	5人	8人	13人 (25%)	10人	0人	10人 (22%)	23人 (24%)

Q2 「希望あり」と答えた生徒で、第一希望の研修期間はどちらですか。 ① 短期（2週間） ② 長期（10週間）

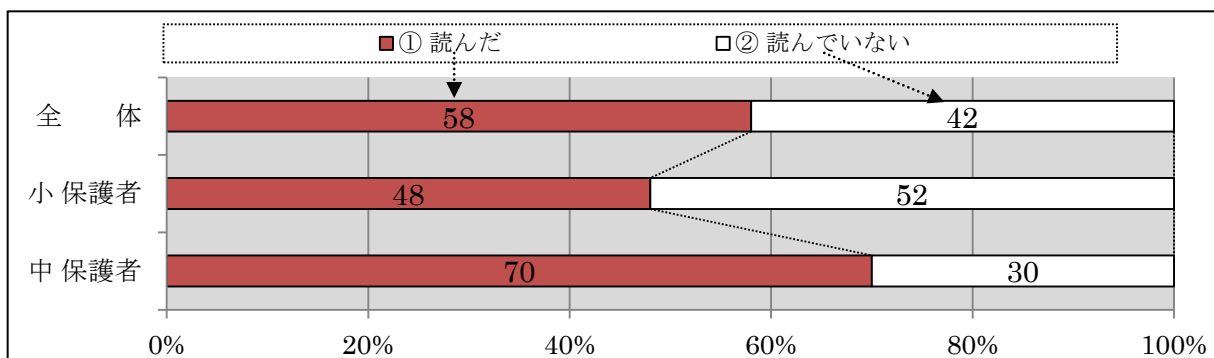
	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 短 期	9人	4人	13人	1人	2人	3人	16人
② 長 期	0人	0人	0人	1人	0人	1人	1人

考察 ・ 現段階の「参加希望有り」と回答した生徒は、15名でありながら、短期が16名、長期が1名の17名回答していた。短期は定員数（5～6名）よりオーバーしており、今後まだ増える可能性もある。

ただ、油木高校は令和2年度に「2019東進 Global English Camp」（世界トップランク大学の学生と過ごすスピーキング漬けの5日間、日本人6～7名で学生1人、経費5～6万円、英検3級以上）を生徒に紹介し参加者を募るとのことで、生徒や保護者の反応が気になるところではある。

小・中 保護者 編

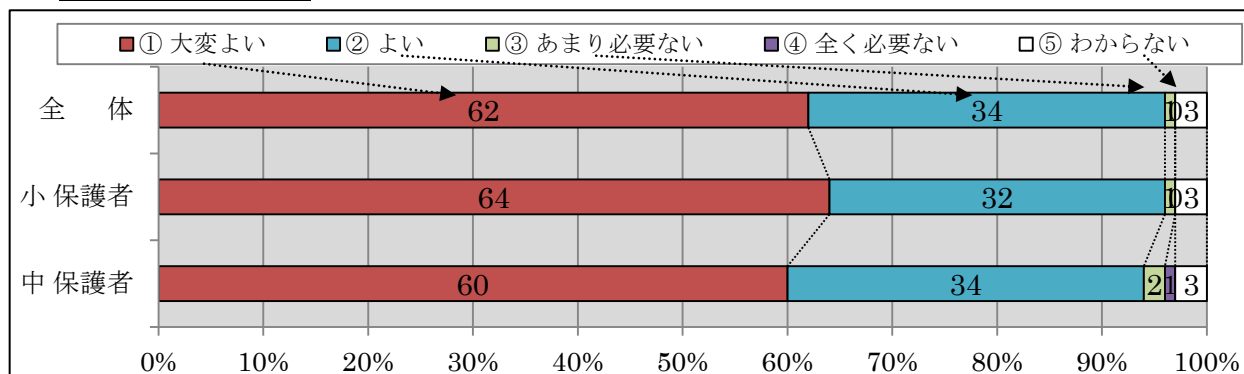
1 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への8つの支援』リーフレットを読まれましたか。



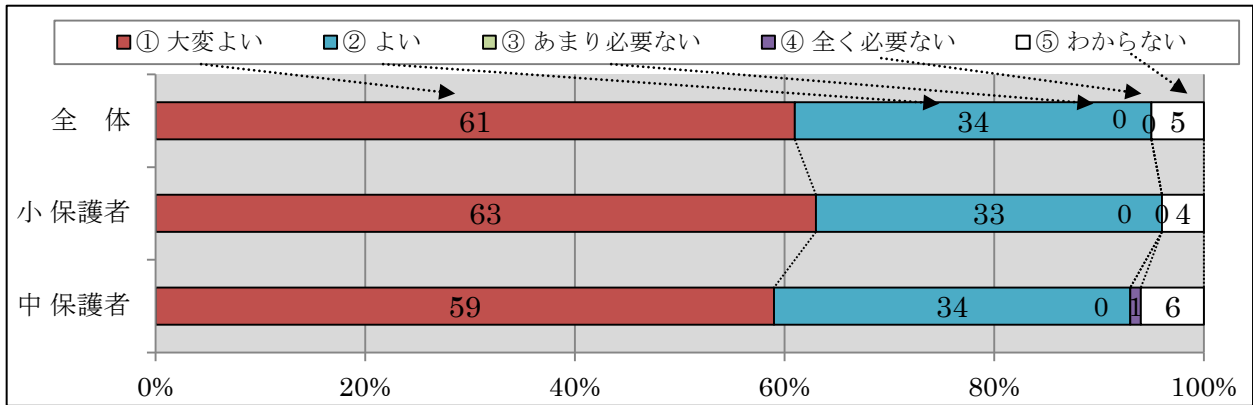
考察 全体としては、58%（昨年 63%、一昨年 66%）読まれているが、徐々に減少傾向にあるのが気にかかる。しかし、この「油木高校生への8つの支援」は、油木高校の一つの魅力でもあるので、関係保護者に知ってもらえるよう、今後もリーフレットの配布は継続し、尚且つ高校進路説明会などでも高校や町からの PR をしていく必要がある。

2 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

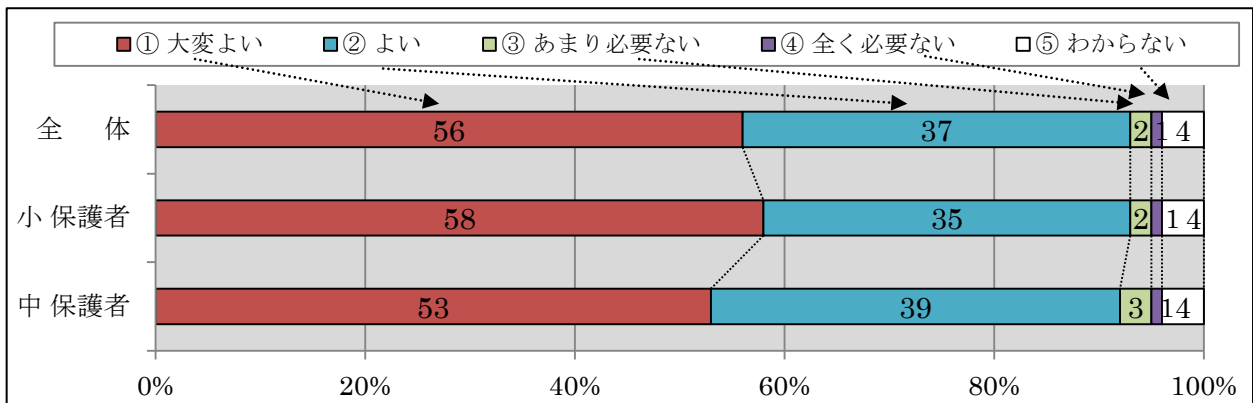
(1) 部活動での遠征費補助について、どう思いますか。



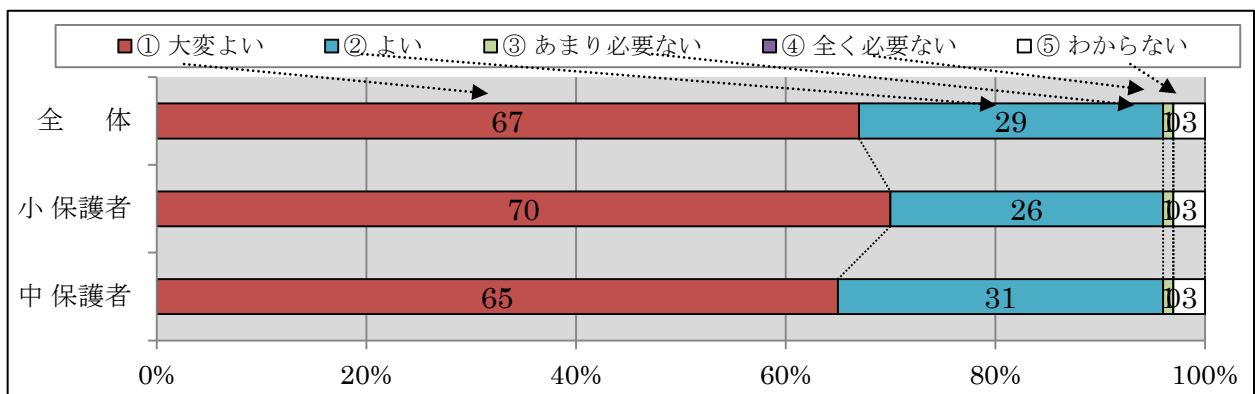
(2) 油木高校内での学習支援塾（はやぶさ塾・神ゼミ）の開設について、どう思いますか。



(3) 海外短期（語学・農業）研修事業への支援について、どう思いますか。



(4) 各種検定受験料の補助（ただし合格者のみ）について、どう思いますか。

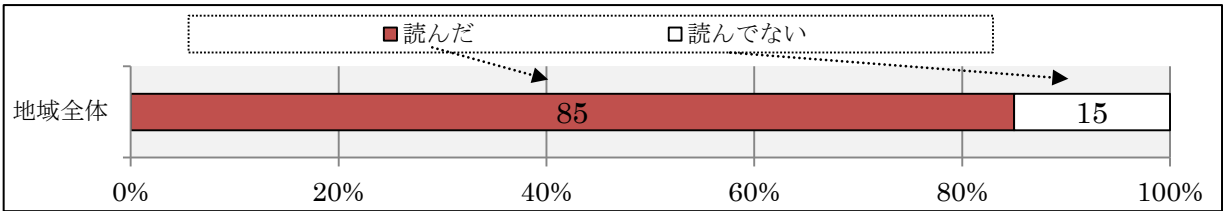


考察・すべての項目で、90%以上が「大変よい・よい」の肯定的回答で、高い評価を受けている。

- ・小・中学校別で見た時、あまり大きな差はないものの、いずれの項目においても小学校保護者の方が肯定的回答が多い。
- ・このように多くの項目において保護者の期待度が高いために、今後とも支援制度の維持や中身の充実を図りながら、更なる油木高校の魅力づくりに繋げていく必要がある。

地域 編

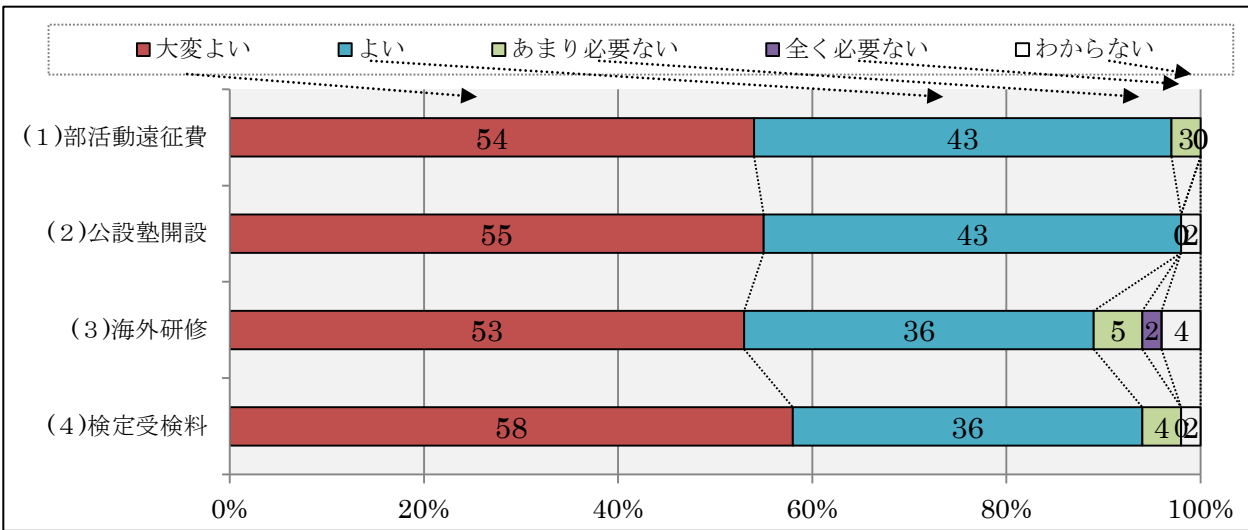
1 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への8つの支援』リーフレットを読まれましたか。



考察 本年度も多くの方々（85% 昨年：88%）に読んでいただいているが、この「8つの支援」は、油木高校の魅力でもあるので、地域の方々にもしっかりと知ってもらい、声を聞きながら検討していくためにも、リーフレットの配布は今後も継続していく必要がある。

2 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

- (1) 部活動での遠征費補助について、どう思いますか。
- (2) 油木高校内での公設塾「はやぶさ塾・神ゼミ」の開設について、どう思いますか。
- (3) 海外（短期・長期）研修事業への支援について、どう思いますか。
- (4) 各種検定の受検料補助（合格者のみ）について、どう思いますか。



考察 各項目とも「大変よい」「よい」を合わせてほしい90%以上あり、肯定的回答が非常に多い。しかも「大変よい」がほしい50%以上あり、最も多い。
この数値が示すように、地域住民の期待は大きいことから、今後もこれらの支援は継続していく必要がある。